

令和7年度特定健診・保健指導システム及び
特定健診等データ管理システム
移行計画書

第 1.0 版

2025 年 5 月 21 日

福岡県国民健康保険団体連合会

改版履歴

No.	版数	日付	変更箇所	変更理由	変更内容
1	1.0	2025/5/21	-	新規作成	-
			以下、余白		

目次

1 はじめに	1
1.1 本書の目的	1
1.2 本書の位置付け	1
1.3 移行の定義	1
1.4 移行概要図	2
1.5 本書における用語定義	3
2 移行計画	5
2.1 移行要件	5
2.2 基本方針	5
2.3 移行対象	6
2.3.1 移行対象範囲	6
2.3.2 移行対象データ	7
2.4 クラウドサービス導入	8
2.4.1 インフラ構築業務受託者の作業範囲	8
2.4.2 ネットワーク設定変更範囲	8
2.5 セキュリティ方針	9
2.6 移行ステップ定義	10
2.7 移行スケジュール	12
2.8 移行実施体制	13
2.8.1 ステークホルダ	13
2.8.2 次期特定健診ヘルプデスク	15
2.9 他システムとの事前調整事項	17
2.9.1 他システムとの外部接続情報	17
2.9.2 他システムとの調整事項	19
3 移行ステップ及び役割分担	21
3.1 本章の目的	21
3.2 国保連合会移行計画書作成	21
3.2.1 開始条件	21
3.2.2 完了条件	22
3.2.3 留意事項	22
3.2.4 実施時期	23
3.2.5 作業詳細	23
3.3 アクセス経路変更(事前作業)	24
3.3.1 開始条件	25
3.3.2 完了条件	28
3.3.3 留意事項	28
3.3.4 実施時期	28
3.3.5 作業詳細	29
3.3.6 異常時対応	33
3.4 クラウド環境への接続	34
3.4.1 開始条件	34
3.4.2 完了条件	35
3.4.3 留意事項	35
3.4.4 実施時期	35
3.4.5 作業詳細	36
3.4.6 異常時対応	37
3.5 移行リハーサル	38
3.5.1 開始条件	39
3.5.2 完了条件	40

3.5.3	留意事項	40
3.5.4	実施時期	41
3.5.5	作業詳細	42
3.5.6	異常時対応	45
3.6	運用試験	46
3.6.1	開始条件	47
3.6.2	完了条件	47
3.6.3	留意事項	47
3.6.4	実施時期	48
3.6.5	作業詳細	49
3.6.6	異常時対応	49
3.7	本番移行	50
3.7.1	開始条件	50
3.7.2	完了条件	51
3.7.3	留意事項	52
3.7.4	実施時期	53
3.7.5	作業詳細	53
3.7.6	異常時対応	58
3.8	解体・撤去	60
3.8.1	開始条件	60
3.8.2	完了条件	60
4	移行ツール及び移行手順書	62
4.1	移行ツール及び手順書一覧	62
4.2	移行ツール仕様	63
4.2.1	DB データ抽出ツール	63
4.2.2	DB データ取込ツール	63
4.2.3	データ転送ツール	64
4.2.4	フラットファイル用リストファイル作成ツール	64

(別紙資料)

別紙 1_アクセス経路変更フロー

別紙 2_タイムチャート案

別紙 3_国保連合会移行計画書の作成ポイント

別紙 4_移行・切替全体スケジュール

別紙 5_【福岡県国保連合会】ステークホルダ

1 はじめに

1.1 本書の目的

本書の目的は、福岡県国民健康保険団体連合会が現在運用中の特定健診・保健指導システム及び特定健診等データ管理システム(以下、「現行標準システム」という。)から次期の特定健診・保健指導システム及び特定健診等データ管理システム(以下、「次期標準システム」という。)へのクラウド移行を円滑に行うために、移行に係る要件、基本方針、移行対象、移行作業、役割分担、移行スケジュール、移行方式等を定義し、全体の移行計画を策定する。

1.2 本書の位置付け

本書を移行における全体計画と位置付け、国民健康保険中央会(以下、「国保中央会」という。)が提供する特定健診・保健指導システム及び特定健診等データ管理システム(以下、「標準システム」という。)について、移行に係る作業の詳細を明確にし、ステークホルダの作業範囲を規定する。

なお、標準システムとは別に、国民健康保険団体連合会独自システムを保有し移行対象とする国保連合会は、その移行計画も策定し、必要に応じて別途、計画書を作成すること。

1.3 移行の定義

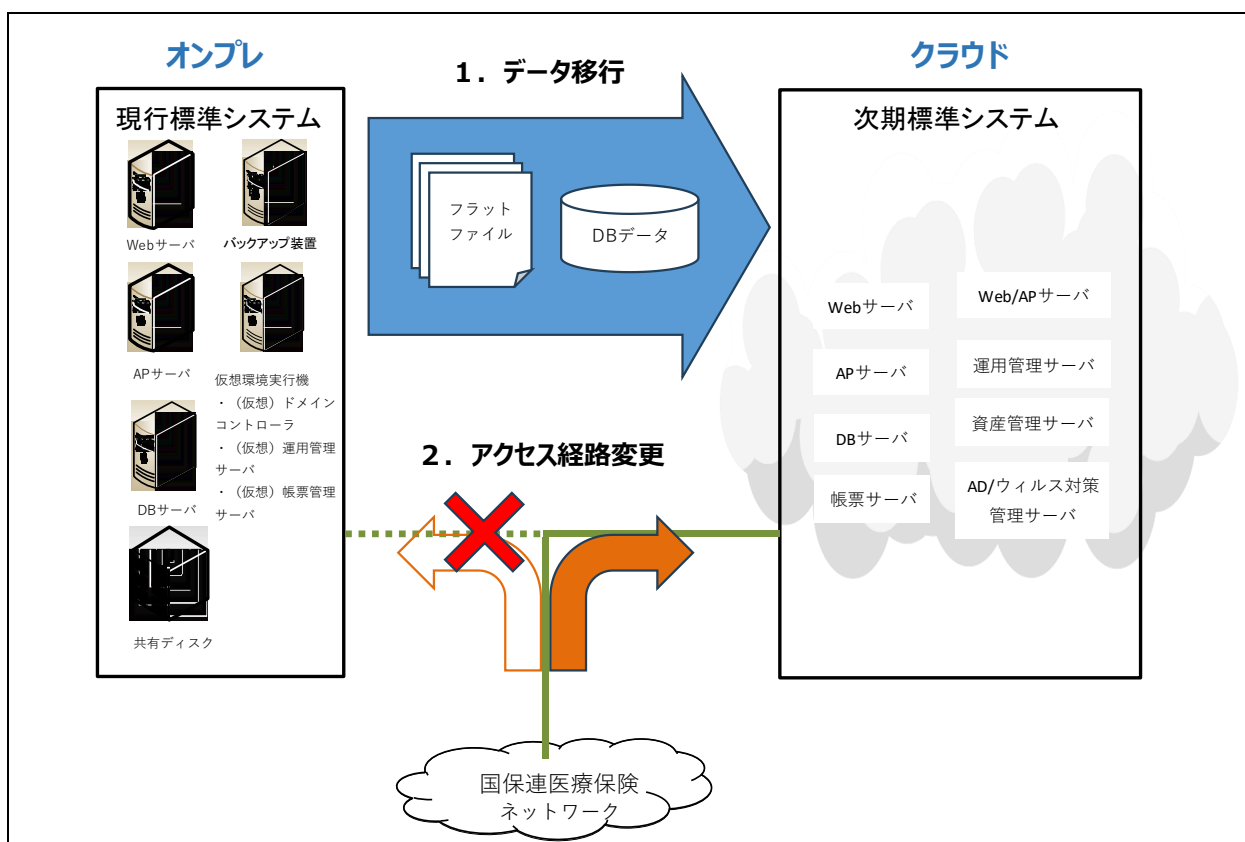
本書では、以下の作業を実施することを「移行」と定義する。

- ① クラウドを導入し次期標準システムに切替すること。
- ② 次期標準システムでネットワーク設定変更すること。
- ③ 現行標準システムから次期標準システムへデータ移行すること。

また、次期標準システムの本稼働を開始するための移行を「本番移行」、本番移行に向けたリハーサルを「移行リハーサル」と定義する。

1.4 移行概要図

移行概要図を「▲図 1.4-1」に示す。



▲図 1.4-1 移行概要図

1.5 本書における用語定義

本書における用語の定義を「▼表 1.5-1」に示す。

▼表 1.5-1 用語定義

No.	用語定義	用語解説
1	国保連合会	「福岡県国民健康保険団体連合会」を指す。
2	国保中央会	「公益社団法人国民健康保険中央会」を指す。
3	標準システム	「特定健診・保健指導システム」及び「特定健診等データ管理システム」を指す。
4	現行標準システム	2026 年 3 月末にサーバ等の保守期限を迎える、現在運用中の特定健診・保健指導システム及び特定健診等データ管理システムを指す。
5	次期標準システム	2026 年 1 月から本稼働を迎える特定健診・保健指導システム及び特定健診等データ管理システムを指す。
6	先行連合会	次期標準システムの運用試験、移行リハーサル、本番移行等を先行して実施する国保連合会を指す。
7	保険者 DMZ 共有システム	標準システムの L2 スイッチ(保険者向け)に、保険者が利用するためのサーバやネットワーク機器を接続しているシステムの総称を示す。以下のシステムが該当する。 ・保険者向けセキュリティ対策システム ・国保事業費納付金等算定標準システム ・国保連合会独自システム
8	国保連合会独自システム	国保連合会が独自に設置したシステムを指す。保険者向け DMZ に設置している場合には、保険者 DMZ 共有システムに含む。
9	オンライン請求ネットワーク	健診等機関から特定健診・保健指導システムに接続するためのネットワークを指す。
10	国保連医療保険ネットワーク	国保中央会と国保連合会を接続するためのネットワークを指す。
11	DB	Database(データベース)の略称を指す。
12	FW	Firewall(ファイアウォール)の略称を指す。
13	データ移行	現行標準システムの DB データ及びフラットファイルを次期標準システムに移行することを指す。DB データ抽出、データ転送、DB データ取込の全体を指す場合に使用する。
14	DB データ抽出	現行標準システムの DB データを DMP ファイルに出力することを指す。
15	DB データ転送	現行標準システムのフラットファイル及び DMP ファイルを次期標準システムに転送することを指す。
16	データ取込	データ転送した DMP ファイルを次期標準システムの DB に取り込み、統計情報取得を実施することを指す。
17	アクセス経路変更	現行標準システムから次期標準システムのクラウド環境へアクセス経路の変更を行うことを指す。
19	国保連合会端末	国保連合会が業務運用に使用する端末を指す。
19	保険者端末	保険者が業務運用に使用する端末を指す。
20	健診等機関端末	健診等機関が業務運用に使用する端末を指す。
21	運用管理端末	国保連合会がシステムの運用監視に使用する端末を指す。
22	データ消去作業受託者	国保連合会からの依頼に応じて、現行標準システムのデータ消去を行う業者を指す。
23	解体・撤去作業受託者	国保連合会からの依頼に応じて、現行標準システムの解体・撤去を行う業者を指す。
24	インフラ構築業務受託者	次期標準システムのインフラ構築を行う業者を指す。
25	機器等	国保連合会端末、保険者端末及びプリンタを含めた総称を指す。
26	コアスイッチ	国保連合会と国総保険者 FW を接続するコアスイッチを指す。

No.	用語定義	用語解説
27	エッジスイッチ	国保連合会と国保連医療保険ネットワークを接続するエッジスイッチを指す。
28	移行ツール	各移行ステップで利用する以下のツールの総称を指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・DB データ抽出ツール ・DB データ取込ツール ・データ転送ツール ・フラットファイル用リストファイル作成ツール
29	疎通確認	ping コマンド等によるネットワークの疎通確認のことを指す。
30	接続確認	オンライン画面の表示確認等による動作確認のことを指す。
31	製品調達仕様書	端末の設置に必要な供給電力、空調(冷却能力)等の要件を記載した資料を指す。
32	OCI	OCI とは Oracle Cloud Infrastructure の略称であり、コンピュート(CPU やメモリ)、ストレージ、ネットワークといった IT 基盤における一連の核となる機能を備えている。次期標準システムで使用するクラウドサービスを指す。
33	他システム	本書では、以下のシステムを総称して「他システム」と定義する。 <ul style="list-style-type: none"> ・支払基金管轄システム ・保険者 DMZ 共有システム ・特定健診・レセプト情報等収集提供システム ・KDB システム ・オンライン資格確認等システム

2 移行計画

2.1 移行要件

現行標準システムから次期標準システムへの移行に係る要件を示す。

- ① 国保連合会に設置されている現行標準システムのデータを国保連医療保険ネットワーク及び NW 事業所を経由して次期標準システムにデータ移行する。
現行標準システムへの影響縮小から移行時間短縮を目的とした移行方法を検討する。
原則としてネットワーク帯域の増速は行わない方針とする。
- ② 移行対象のデータは、DB データ及びフラットファイルとする。
- ③ 先行連合会の本番移行に始まり、すべての国保連合会の移行終了までのスケジュールを作成する。
本番移行作業に係る説明会などの準備作業、本番移行データ確認などの後作業についてもスケジュール化／タイムチャート化する。
国保連合会の規模(移行対象データ量)に基づき、国保連合会を複数のグループに分け、グループ単位でデータ移行を行う。
- ④ 健診等機関に設置している機器の設定は、変更しない。
- ⑤ 本番移行及び移行リハーサルは、休日の作業を基本とし、現行標準システム及び他システムの運用への影響を防ぐ。
- ⑥ 2026 年 3 月末までにすべての国保連合会で本番移行を完了させる必要がある。
現行標準システムの解体・撤去は保守期間内もしくは移行完了後一か月を目途に国保連合会で実施すること。
- ⑦ 万が一、本番移行時に障害が発生した場合は、国保連合会が現行標準システムへ切り戻し、業務運用への影響を防ぐ。
- ⑧ 次期標準システムにおいてデータ移行(移行リハーサル、本番移行)後に DB 及びフラットファイルのフルバックアップを実施する。

2.2 基本方針

現行標準システムから次期標準システムへの移行を円滑に実施するための基本方針を「▼表 2.2-1」に示す。

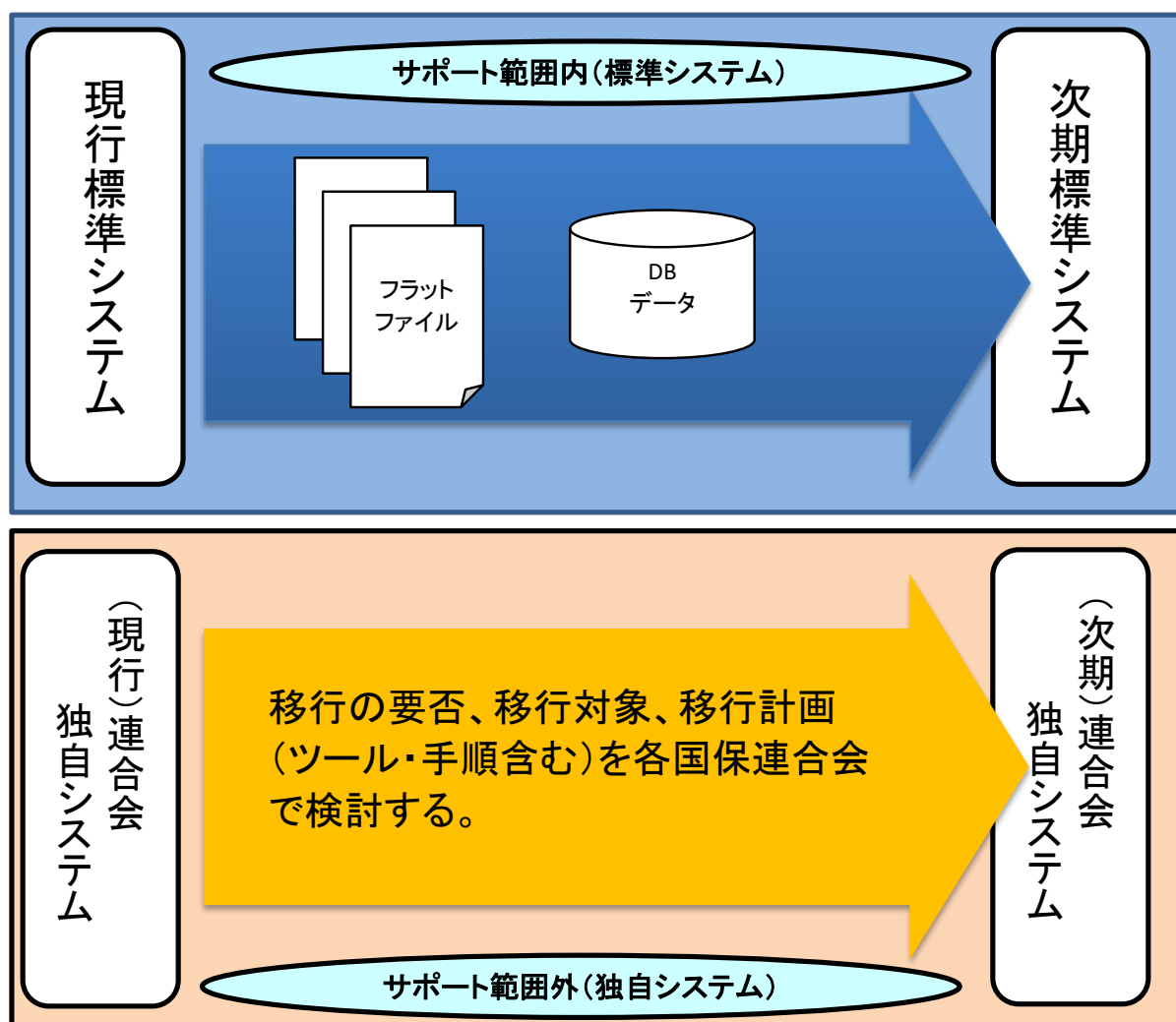
▼表 2.2-1 基本方針

No.	基本方針	対応方針
1	安全かつ確実なデータ移行を実現	<ul style="list-style-type: none"> ・移行対象のデータを明確にする。 ・高精度な移行ツール及び移行手順書を作成し、人為的ミスを軽減する。 ・移行したデータを利用する運用試験で、移行対象のデータに不備がないことを国保連合会が確認する。
2	現行標準システム運用を含めた業務運用への影響を最小化	<ul style="list-style-type: none"> ・データ移行に要する時間を最小化するために、次期標準システムの運用に不要データは国保連合会にてデータ移行までに整理(国保連合会にて保管または消去の判断、及び対応)されるものとする。 DB オブジェクトで、ステータスが無効状態(INVALID)のオブジェクトは、データ移行までに現行側で有効状態(VAILD)にすること。 ・データ集配信システム、国保総合システム等、現在稼働している他システムへの影響を最小化する。
3	他システムとの連携・確認	<ul style="list-style-type: none"> ・他システムに依頼する必要がある作業内容及び実施時期を明確にする。
4	国保連合会保有の独自システムの移行	<ul style="list-style-type: none"> ・国保連合会独自システムについては、国保中央会によるサポート対象外のため、国保連合会が移行の要否、移行対象、移行計画(ツール・手順含む)を検討する。

2.3 移行対象

2.3.1 移行対象範囲

国保中央会がサポートする移行対象は標準システムのみであり、国保連合会独自システムは含まない。



▲図 2.3-1 国保中央会がサポートする移行対象範囲

2.3.2 移行対象データ

移行対象データを「▼表 2.3-1」に示す。

▼表 2.3-1 現行標準システムの移行対象データ

No.	種類	移行対象	説明
1	DB データ	対象	<p>現行標準システムの DB からデータを抽出する。 対象オブジェクトは、以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> •FUNCTION •INDEX •PACKAGE •PACKAGE BODY •PROCEDURE •SEQUENCE •SYNONYM •TABLE •TYPE •VIEW <p>次期標準システムの DB への投入はスキーマ単位に行う。 対象スキーマは以下になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> •TKBAT •TKONL •RECHUSER •RECMUSER •RECSUSER <p>国保連合会の DB 内の対象スキーマにあるオブジェクトをすべて移行する。 次期標準システムへ投入後に統計情報の再作成を行う。</p>
2	フラットファイル (DB サーバの「J:MSCS-SHARE/ktdk/df」) ※1	対象	<p>ファイルダウンロード機能でダウンロード可能な CSV ファイルや設定ファイルといった、現行標準システム DB サーバの「J:MSCS-SHARE/ktdk/df」に格納しているファイルを移行する。 ただし、一時作成ファイルや次期標準システムで利用しない設定ファイルは移行しない。</p>
3	ログファイル	対象外	<p>ログファイルは、次期標準システムで利用しないため、移行対象外とする。</p>
4	現行環境ログファイル(確認用)	対象	<p>移行ツールで出力するログファイルは移行後確認を行うため、現行環境から移行する。</p>

※1 J:MSCS-SHARE/ktdk/df のディレクトリ以外に必要なファイルがあれば、MSCS-SHARE/ktdk/df 配下に ikou ディレクトリを作成し、格納すること。

2.4 クラウドサービス導入

2.4.1 インフラ構築業務受託者の作業範囲

今回のクラウドサービス導入等更改において、インフラ構築業務受託者が実施する作業範囲を以下に示す。

- ① クラウド環境の設計、構築を行う。
- ② データ集配信システム(OCI)と次期標準システムを接続し、ドメイン信頼関係の設定並びに WSUS からのセキュリティパッチ、Trend Micro Deep Security の最新パターンファイルの取得を確認する。
- ③ 次期標準システムに接続するデータ集配信システム(OCI)とネットワークの疎通を確認する。

なお、アプリケーションの導入はインフラ構築業務受託者の作業範囲に含まない。クラウド環境引き渡し後に、国保連合会が実施する。

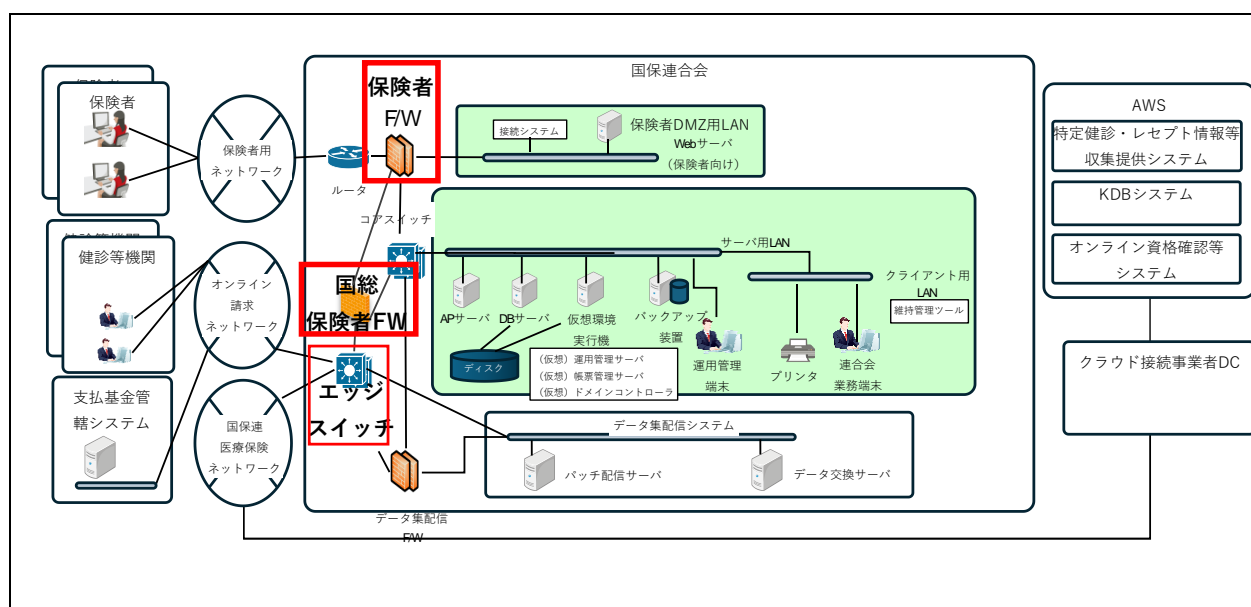
2.4.2 ネットワーク設定変更範囲

次期標準システムにおいてデータ移行を実施する際、現行標準システムとネットワークを接続する必要がある。

次期標準システムがクラウド(OCI)となるため、現在のネットワーク設定から、各ネットワーク機器等の設定変更、設定追加、設定削除を行い、現行標準システムと次期標準システムを接続する。

国保連合会に影響がある設定変更を行う箇所(赤枠)について「▲図 2.4-1」に示す。

各ネットワーク機器の設定詳細については「2.9.1 他システムとの外部接続情報」に示す。



▲図 2.4-1 ネットワーク設定変更範囲

2.5 セキュリティ方針

現行標準システムから次期標準システムへデータ移行する際、移行対象データが第三者へ漏洩しないようセキュリティに留意する。基本的に国保連合会及び厚生労働省が制定しているセキュリティポリシー(※)に準拠するものとする。

なお、データ移行時の具体的なセキュリティ対策については、「3.5 移行リハーサル」の留意事項⑨及び「3.7 本番移行」の留意事項⑥を参照すること。

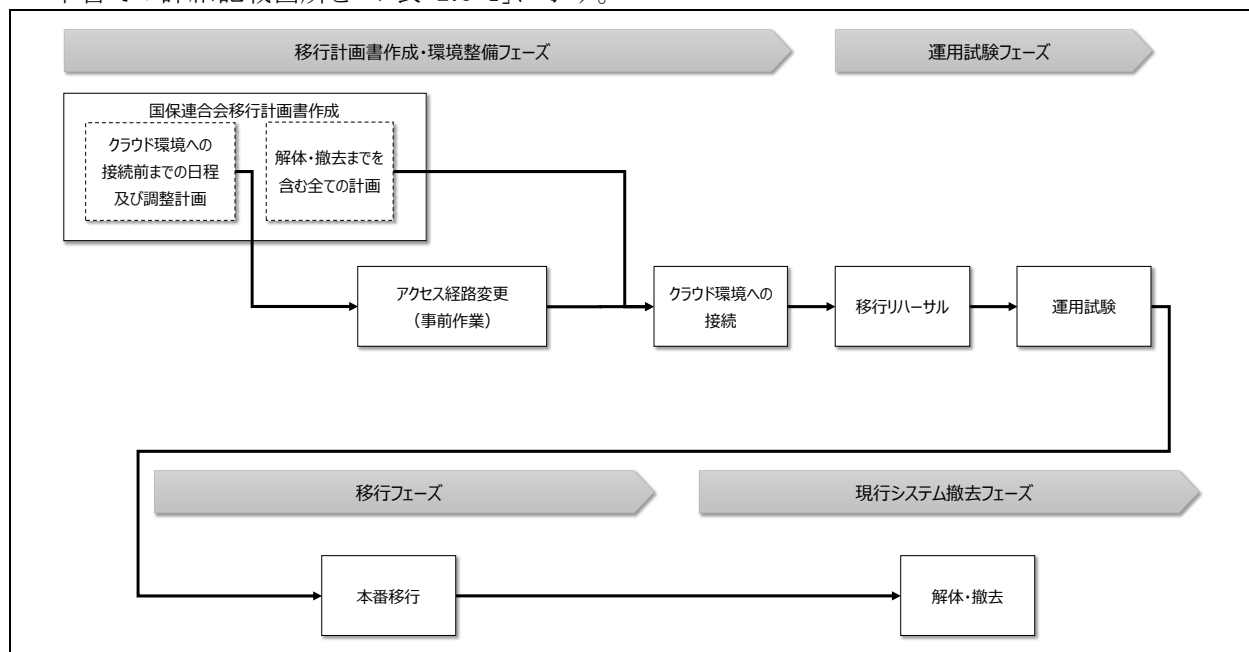
※

- ① 「国民健康保険団体連合会等における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」
- ② 「クラウドサービス利用のための情報セキュリティマネジメントガイドライン」
- ③ 「国保中央会情報セキュリティポリシー並びに関連資料等」
- ④ 「安全な Web サイトの作り方」
- ⑤ 「デジタル・ガバメント推進標準ガイドライン(2023 年(令和 5 年)3 月 31 日最終改定)」
- ⑥ 「政府情報システムにおけるクラウドサービスの適切な利用に係る基本方針(2023 年(令和 5 年)9 月 29 日最終改定)」
- ⑦ 「情報システムに係る政府調達におけるセキュリティ要件策定マニュアル」
- ⑧ 「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準群」
- ⑨ 「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度(ISMAP)」
- ⑩ 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第 6.0 版」
- ⑪ 「医療情報を取り扱う情報システム・サービスの提供事業者における安全管理ガイドライン」

2.6 移行ステップ定義

移行に係る重要な準備作業やシステム構成の遷移に係る作業単位（作業工程）を「移行ステップ」と定義する。

各移行ステップの前後関係や並走可否を示すフロー図を「▲図 2.6-1」に、各移行ステップの概要と本書での詳細記載箇所を「▼表 2.6-1」に示す。



▼表 2.6-1 各移行ステップの概要と本書での詳細記載箇所

No.	フェーズ	移行ステップ	概要	本書での詳細記載箇所
1	移行計画書作成・環境整備フェーズ	国保連合会移行計画書作成	国保連合会が業務運用を考慮し国保連合会移行計画書を作成する。移行スケジュールや移行ステップごとの作業内容、役割等を詳細に検討し文書化する。	3.2
2		アクセス経路変更(事前作業)	移行ステップ「クラウド環境への接続」時に次期標準システムのネットワーク接続が円滑に行えるように、事前に各種ネットワーク機器の設定を変更する。	3.3
3		クラウド環境への接続	次期標準システムのクラウドサーバへのネットワーク接続確認を実施する。	3.4

No.	フェーズ	移行ステップ	概要	本書での詳細記載箇所
4	運用試験フェーズ	移行リハーサル	<p>現行標準システムから次期標準システムへのデータ移行を実施する。移行したデータは運用試験で利用する。データ移行を本番移行と同様の手順で実施し、国保連合会移行計画書の作業体制等の妥当性を確認する。</p> <p>連合会独自システムのデータが運用試験で必要になる場合、標準システムの移行とは別日で行うこと。</p>	3.5
5		運用試験	<p>国保中央会が提供する運用試験手順兼成績書(成績未記入版)をもとに、次期標準システムでの本番運用を想定した試験を国保連合会が実施し、機能・性能等に運用上の問題がないか確認する。</p>	3.6
6	移行フェーズ	本番移行	<p>データ移行及びアクセス経路変更(当日作業)を実施する。本ステップ完了により、次期標準システムが本稼働する。</p> <p>保険者 DMZ 及びデータ集配信システム(オンプレ)のセキュリティ等管理システムへの更改は本ステップと同日に実施する。</p> <p>連合会独自システムのデータについては、標準システムの移行とは別日で行うこと。</p>	3.7
7	現行システム撤去フェーズ	解体・撤去	<p>現行標準システム機器を解体・撤去する。解体・撤去は保守期間内もしくは移行完了後一か月を目途に国保連合会で実施すること。</p>	3.8

2.7 移行スケジュール

先行連合会と、国保連合会の移行ステップ及びスケジュールを「▼表 2.7-1」に示す。
 なお、各ステップの詳細な作業スケジュールについては別紙 4「移行・切替全体スケジュール」を参照すること。

▼表 2.7-1 移行ステップ及びスケジュール

No.	移行ステップ	実施時期				
		先行連合会		国保連合会		
		着手可	完了期限	着手可	完了期限	備考
1	国保連合会移行計画書作成 (クラウド環境への接続前までの日程及び調整計画)	2025 年 5 月上旬	2025 年 6 月中旬	2025 年 5 月 16 日	2025 年 6 月 20 日	アクセス経路変更開始までに完了
	国保連合会移行計画書作成 (解体・撤去までを含むすべての計画)	2025 年 5 月上旬	クラウド環境 接続まで	2025 年 5 月 16 日	2025 年 8 月 15 日	クラウド環境 接続までに完了
2	アクセス経路変更(事前作業)(※2)	2025 年 4 月下旬	クラウド環境 接続まで	2025 年 6 月 23 日	2025 年 8 月 15 日	クラウド環境 接続までに完了
3	クラウド環境への接続(※2)(※3)	2025 年 7 月中旬	総合試験まで	2025 年 8 月 18 日	2025 年 8 月 29 日	移行リハーサルまでに完了
4	総合試験(※1)(※3)	2025 年 8 月上旬	2025 年 10 月上旬	対象外		
5	移行リハーサル(※2)(※3)	2025 年 9 月上旬	2025 年 10 月下旬	2025 年 10 月 18 日	2025 年 10 月 20 日	
6	運用試験(※3)	2025 年 10 月中旬	2026 年 1 月中旬	2025 年 12 月上旬	2026 年 2 月 27 日	
7	本番移行(※2)(※3)	2026 年 1 月中旬	2026 年 1 月下旬	2026 年 2 月 21 日	2026 年 2 月 23 日	
8	解体・撤去(※3)	本番移行後	2026 年 3 月末	本番移行後	2026 年 3 月末	

※1 先行連合会で試験を実施し、国保連合会の環境で移行や運用試験が実施できることを確認する。

※2 国保中央会と事前相談を行うことを前提で、土日祝日の 20:00 までを次期特定健診ヘルプデスクの対応時間とする。

※3 解体・撤去までを含む移行計画作成時に日程を確定させるため、仮の日程を記載。

▼表 2.7-2 移行スケジュール(国保連合会)

No.	移行ステップ	2025年												2026年													
		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
1	国保連合会移行計画書作成 (クラウド環境への接続前までの日程 及び調整計画)																										
	国保連合会移行計画書作成 (解体・撤去までを含む全ての計画)																										
2	アクセス経路変更(事前作業)																										
3	クラウド環境への接続 - 総合試験(その他連合会は対象外)																										
4	移行リハーサル																										
5	運用試験																										
6	本番移行																										
7	解体・撤去																										

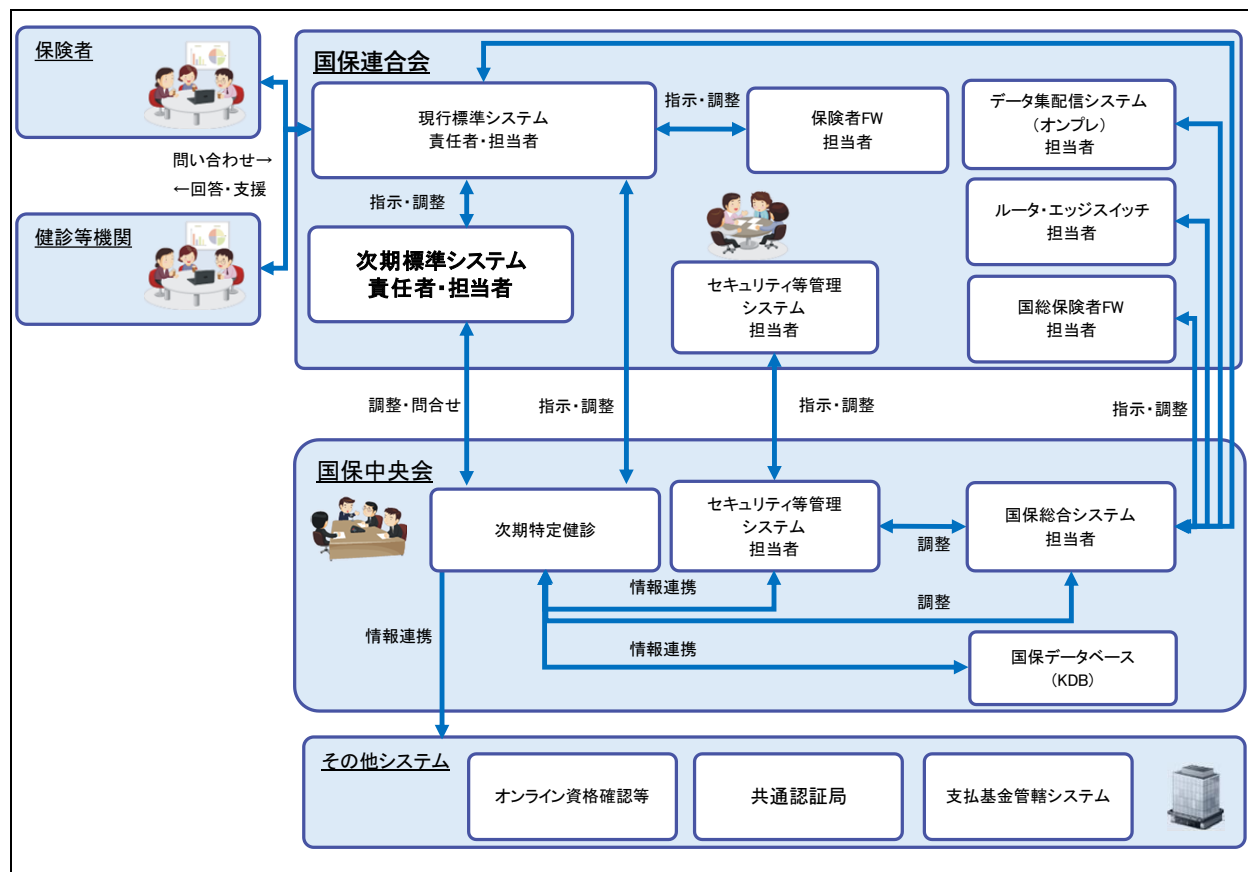
←→: 原則、当該期間に実施する。

←→→: 本番移行(データ移行、ネットワーク切替)完了後、実施する。

2.8 移行実施体制

2.8.1 ステークホルダ

移行実施に係るステークホルダの関連を「▲図 2.8-1」に示す。



▲図 2.8-1 ステークホルダ関連図

ステークホルダの役割を「▼表 2.8-1」に示す。

▼表 2.8-1 ステークホルダの役割

各担当者名については
「別紙 5【福岡県国保連合会】ステークホルダ.xlsx」を参照

担当者	役割
次期標準システム 責任者・担当者	国保連合会の次期特定健診システムの責任者及び担当者。 中央会との窓口として連携を図り、次期特定健診システムへの移行を推進する。また、連合会内の担当者に対して指示を行い、業務の調整にあたる。
保険者	特定健診等データ管理システムの利用者。
健診等機関	特定健診保健指導システムの利用者。
次期特定健診	次期特定健診の担当者。 システムの責任者として移行を遂行し、移行作業の完了や延期等に関して意思決定を行う。 国保連合会や他システムの担当者との調整及び問い合わせ窓口として対応する。
現行標準システム 責任者・担当者	国保連合会の現行特定健診システムの責任者及び担当者。

担当者	役割
データ集配信システム (オンプレ) 担当者	<p>現行データ集配信システムの担当者。</p> <p>次期特定健診システム移行に関する調整窓口として対応する。 また、国保中央会の次期データ集配信システム(OCI)と指示・調整を行う。</p>
保険者 FW 担当者	<p>保険者 DMZ・保険者 FW の担当者。</p> <p>次期特定健診システム移行に関する調整窓口として対応し、保険者 FW の設定変更を行う。また、現行特定健診の担当者と指示・調整を行う。</p>
ルータ・エッジスイッチ 担当者	<p>ルータ、エッジ S/W の担当者。</p> <p>次期特定健診システム移行に伴い、連携された通信要件をもとにルータ、エッジ S/W の設定変更を行う。</p>
セキュリティ等管理システム 担当者(国保連合会)	<p>セキュリティ等管理システムの担当者。</p> <p>次期特定健診システム移行に関する調整窓口として対応し、セキュリティ等管理システムの更改を担当する。また、国保中央会のセキュリティ等管理システムの担当者と指示・調整を行う。</p>
セキュリティ等管理システム 担当者(国保中央会)	<p>セキュリティ等管理システムの担当者。</p> <p>次期特定健診の担当者と移行内容及びスケジュールの調整を行い、国保連合会のセキュリティ等管理システム担当者と指示・調整を行う。</p>
国保総合システム 担当者	<p>国保総合システムの担当者。</p> <p>国保連合会の「データ集配信(オンプレ)」、「ルータ、エッジ S/W」、「国総保険者 FW」の担当者と指示・調整を行う。</p>
国総保険者 FW 担当者	<p>国総保険者 FW の担当者。</p> <p>次期特定健診システム移行に伴い、連携された通信要件をもとに国総保険者 FW の設定変更を行う。 連合会のネットワーク通信量に関する連携先として帯域制御の実施を担当する。</p>
KDB システム	<p>国保データベース(KDB)システムの担当者。</p> <p>次期特定健診システムのデータ連携先システムとして運用試験等の調整・対応を行う。</p>
オンライン資格確認等システム	<p>オンライン資格確認等システムの担当者。</p> <p>次期特定健診システムのデータ連携先システムとして運用試験等の調整・対応を行う。</p>
共通認証局	<p>共通認証局の担当者。</p> <p>次期特定健診システムのデータ連携先システムとして運用試験等の調整・対応を行う。</p>
支払基金管轄システム	<p>支払基金管轄システムの担当者。</p> <p>次期特定健診システムのデータ連携先システムとして運用試験等の調整・対応を行う。</p>

2.8.2 次期特定健診ヘルプデスク

国保中央会が設置する次期特定健診ヘルプデスクにおける対応を以下に示す。

(1) 次期特定健診ヘルプデスクの問い合わせ対応

移行ステップごとの次期特定健診ヘルプデスク問い合わせ対応について、「▼表 2.8-2」に示す。

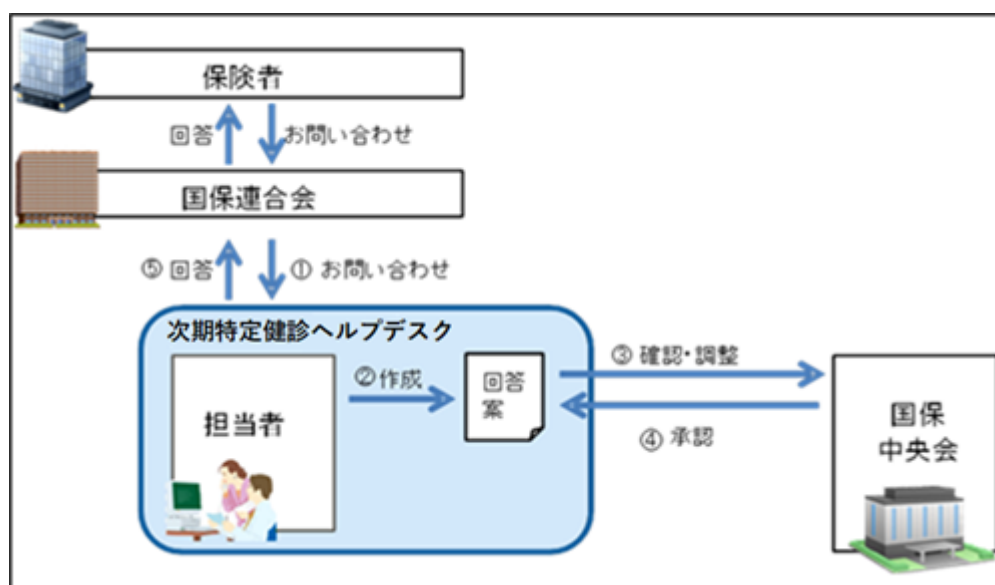
▼表 2.8-2 移行ステップごとの問い合わせ窓口

移行ステップ	期間	問い合わせ方法	問い合わせ内容	担当者	対応時間※
運用試験開始前	2025 年 10 月中 旬まで	・業務支援システム ・電話	業務に関する問い合わせ	国保中央会 (業務担当)	平日 8:30～17:30
			システム基盤、ハードウェア類に関する問い合わせ	国保中央会 (インフラ担当)	平日 8:30～17:30
			移行に関する問い合わせ	国保中央会 (インフラ担当)	平日 8:30～17:30
次期標準システム 運用試験開始後	2025 年 10 月中 旬～	・業務支援システム ・電話	業務に関する問い合わせ	次期特定健診 ヘルプデスク (業務担当)	平日 8:30～17:30
			システム基盤、ハードウェア類に関する問い合わせ	次期特定健診 ヘルプデスク (インフラ担当)	平日 8:30～17:30
			移行に関する問い合わせ	国保中央会 (インフラ担当)	平日 8:30～17:30

※アクセス経路変更(事前作業)、クラウド環境への接続確認、移行リハーサル実施期間、本番移行時には例外期間とし、国保中央会と事前相談を行うことを前提に、土日祝日の20:00 までを対応時間とする。

(2) 対応フロー

次期標準システムにおける体制及び対応フローを「▲図 2.8-4」に示す

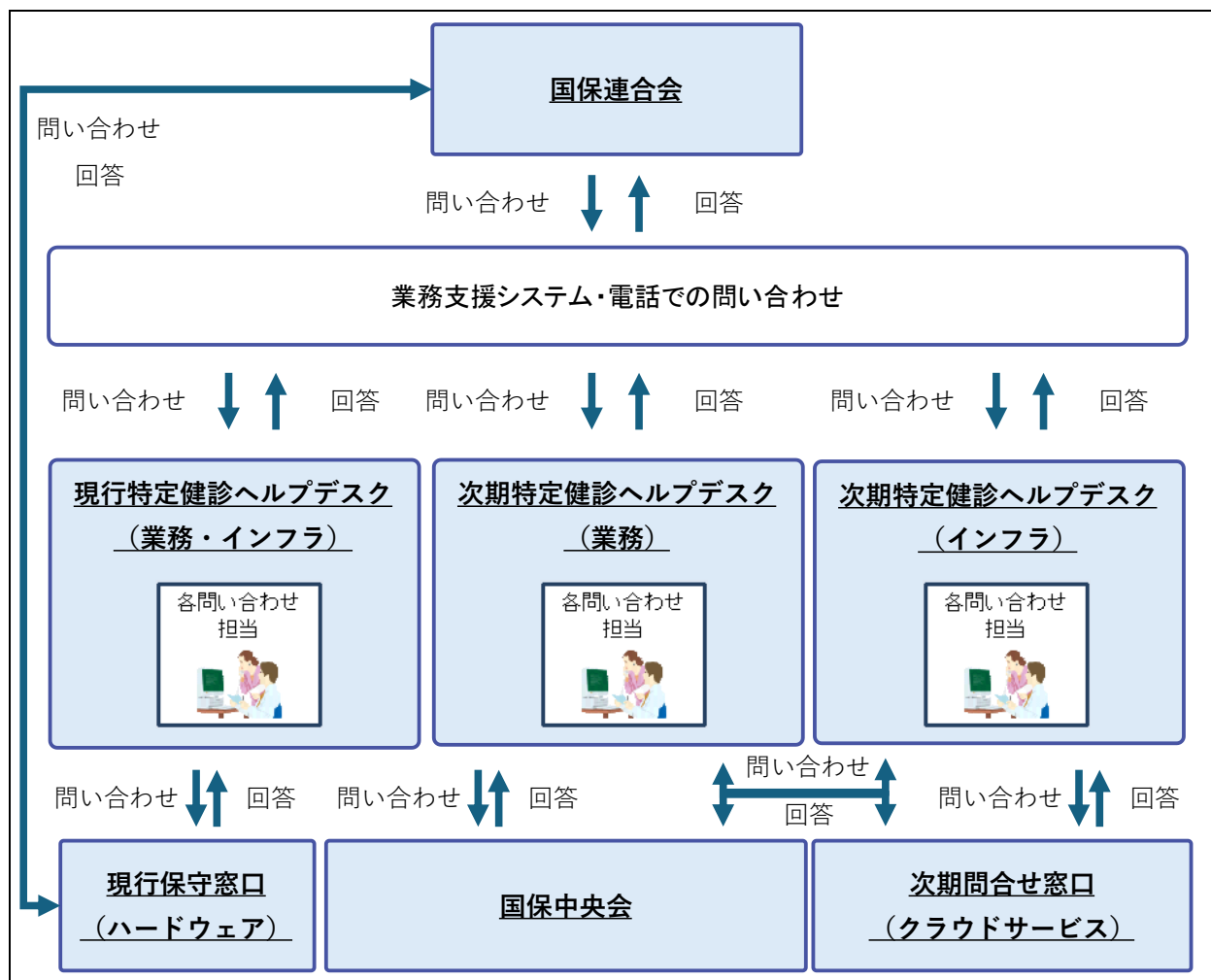


▲図 2.8-4 問い合わせ体制及び対応フロー

(3) 連絡方法

国保連合会からの問い合わせ及び次期特定健診ヘルプデスクからの回答は、国保業務支援システムまたは電話で行う。

アクセス経路変更(事前作業)、クラウド環境への接続確認、移行リハーサル、本番移行の際は、専用の電話番号で個別に対応する。電話番号は、国保中央会による日程調整時に個別に周知する。



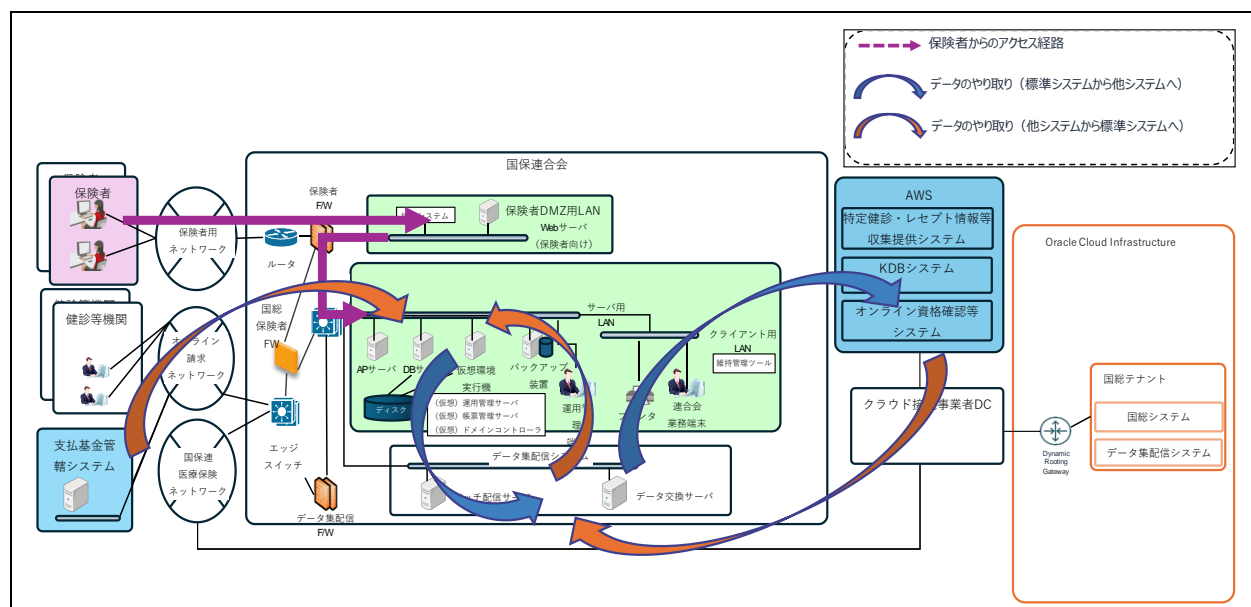
▲図 2.8-2 問い合わせ窓口の関連図

2.9 他システムとの事前調整事項

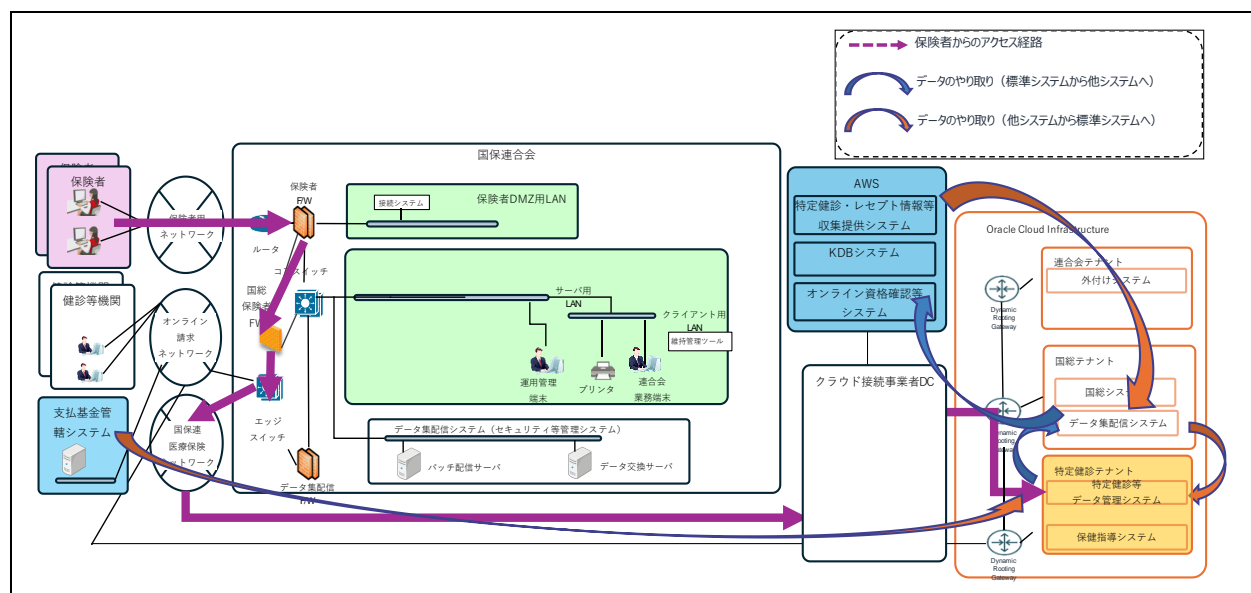
2.9.1 他システムとの外部接続情報

国保連合会が国保連合会移行計画書を作成する際、他システムと次期標準システムとの外部接続変更について計画する必要がある。他システムとの外部接続情報と移行時の作業及び影響を以下に説明する。

なお、各移行ステップにおける標準システムへのアクセス経路変更の遷移については、別紙1「アクセス経路変更フロー」を参照。



▲図 2.9-1 他システムとの外部接続情報(現行)



▲図 2.9-2 他システムとの外部接続情報(次期)

▼表 2.9-1 他システムとの接続と移行時の作業及び影響

No.	他システム名	接続箇所	接続の目的	移行時の作業及び影響
1	データ集配信システム(オンプレ)	コアスイッチと接続している。	オンプレ環境機器への Windows 更新プログラム配信とウイルス対策ソフトの更新プログラム配信を行う。	特定健診システム用の端末についてドメイン参加と OCI 特定健診への接続のための DNS 参加を行う。
2	保険者 FW	保険者 FW は国保連合会で調達し、保険者ネットワーク、保険者向け DMZ、データ集配信システム、コアスイッチと接続している。	保険者クライアントからクラウドの次期標準システムに接続するため。	セキュリティ等管理システムとして必要な要件をセキュリティ管理側から国保連合会に連携し、国保連合会にて必要な設定を行う。
3	国総保険者 FW	国総保険者 FW は、保険者 FW、コアスイッチ、エッジスイッチと接続している。	連合会拠点と特定健診(OCI)間の通信を可能とする。	通信要件を基に国総保険者 FW へのルーティング設定、通信許可設定を行う。
4	エッジスイッチ	エッジスイッチは国総保険者 FW、国保連医療保険ネットワークと接続している。	47連合会、中央会、各クラウド拠点の接続に関する経路制御する。	国保連合会の特定健診(OCI)への通信経路追加を行う。
5	保険者 DMZ 共有システム	標準システムの L2 スイッチ(保険者向け)に、保険者が利用するためのサーバやネットワーク機器を接続している。	<ul style="list-style-type: none"> ・L2 スイッチ(保険者向け)を経由し、保険者クライアントから各システムのサーバ(Web サーバ等)に接続する。 ・各システムの Web サーバ等が現行標準システムのドメインコントローラから Windows のセキュリティパッチ、Sophos の検索エンジン及びパターンファイルを取得する。 	現行標準システムの解体撤去に伴い、現行標準システムの機器停止が発生するため、影響確認を行う。
6	支払基金管轄システム	ファイル転送サーバと接続している。	標準システムへファイルを連携するために、ファイル転送サーバにファイルを送信する。	運用試験の実施の有無を調整する。
7	特定健診・レセプト情報等収集提供システム	データ集配信システムと接続している。	標準システムへファイルを連携するために、データ集配信システムにファイルを送信する。	現行標準システムの解体撤去に伴い、現行標準システムの機器停止が発生するため、影響確認を行う。
8	オンライン資格確認等システム	データ集配信システムと接続している。	標準システムへファイルを連携するために、データ集配信システムにファイルを送信する。	現行標準システムの解体撤去に伴い、現行標準システムの機器停止が発生するため、影響確認を行う。

2.9.2 他システムとの調整事項

他システムと次期標準システムを接続するにあたり、国保連合会で必要な事前調整事項を「▼表 2.9-2」に示す。

▼表 2.9-2 他システムとの事前調整事項

No.	調整事項	調整先									概要
		国保連合会							国保中央会	国総保険者FW	
		保険者DMZ共有システム	支払基金管轄システム	特定健診・レセプト情報等収 集提供システム	データ集配信システム (オンプレ)	エッジスイッチ	オンライン資格確認等システム	保険者FW			
1	接続箇所 と機器停 止影響の 確認依頼	○	-	○	○	○	○	○	-	-	現行標準システムと接続している システムの担当者に、現行標準シ ステムと接続している機器、接続 ポート、現行標準システムの機器 が解体・撤去にともない停止する ため、システム監視等への影響の 確認を依頼する。
2	保険者 FW 設定 変更依頼	-	-	-	-	-	-	○	-	-	保険者 FW の担当者に、保険者 FW の設定変更を依頼する。 また、現行標準システム停止時に 現行標準システム用の通信許可 設定を削除依頼する。
3	国総保険 者 FW 設 定変更依 頼	-	-	-	-	-	-	-	-	○	国総保険者 FW の担当者に、国 総保険者 FW の設定変更を依頼 する。
4	データ集 配信シス テム(オン プレ)設 定変更依 頼	-	-	-	○	-	-	-	-	-	特定健診システム用の端末につ いてドメイン参加と OCI 特定健診 への接続のための DNS 参加を行 う。また、オンプレ環境機器への Windows 更新プログラム配信とウ イルス対策ソフトの更新プログラム 配信を行う。
5	エッジス イッチ設 定変更依 頼	-	-	-	-	-	○	-	-	-	連合会の特定健診 (OCI) への通 信経路追加するため、作業を依 頼する。
6	他シス テム連携 試験の調 整	※試験項目により異なる									他システム連携試験は、運用試 験の中で国保連合会が任意に実 施する。試験を実施する場合、国 保連合会が実施時期及び実施方 法を連携先システムと調整する。

No.	調整事項	調整先									概要
		国保連合会							国保中央会	国総保険者FW	
		保険者DMZ共有システム	支払基金管轄システム	特定健診・レセプト情報等収 集提供システム	データ集配信システム (オンプレ)	エッジスイッチ	オンライン資格確認等システム	保険者FW			
7	現行標準システム の機器停止連絡	○	-	○	○	○	○	○	-	-	現行標準システムと接続している 他システムの担当者に、現行標 準システム機器解体・撤去予定日 に現行標準システムの機器が停 止するため、「接続箇所の確認依 頼」で確認している影響が発生す ることを連絡する。 また、各システムの保険者 DMZ に設置している機器に対する接 続確認を依頼する。

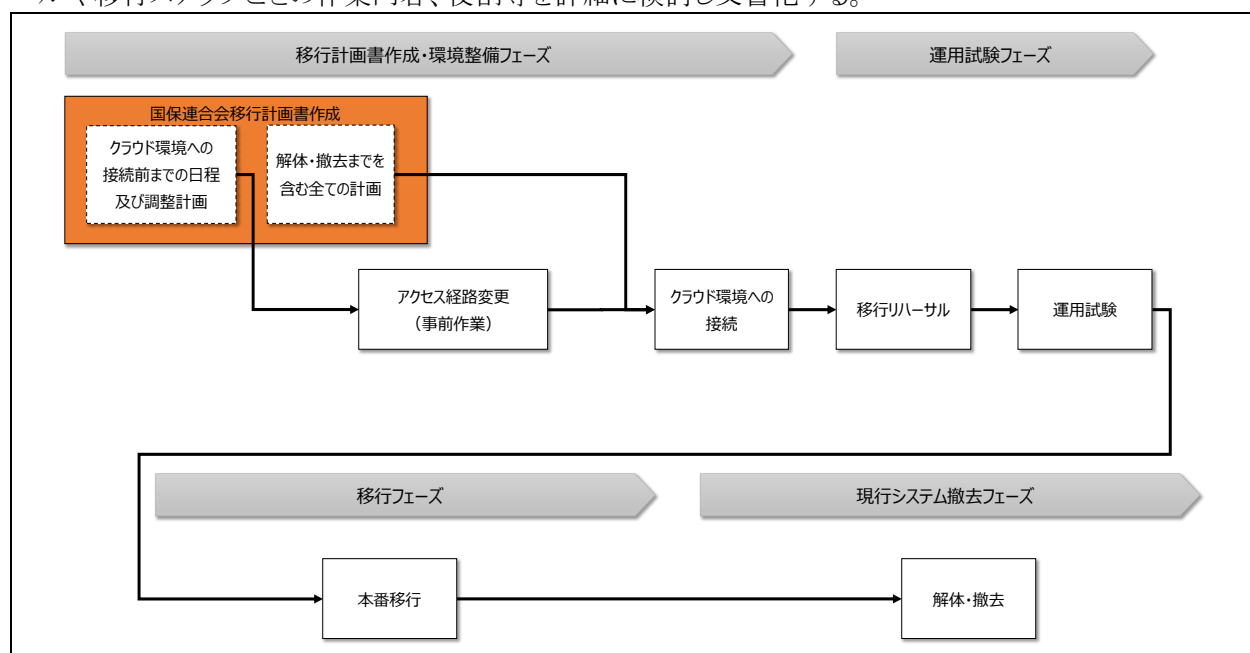
3 移行ステップ及び役割分担

3.1 本章の目的

次期標準システムへの移行に際しては、スケジュール、開始条件、完了条件、作業内容、役割分担を移行ステップごとに詳細に計画する必要がある。本章では、それらの観点に基づき、各移行ステップの詳細を説明する。

3.2 国保連合会移行計画書作成

本ステップでは、国保連合会が業務運用を考慮し国保連合会移行計画書を作成する。移行スケジュールや移行ステップごとの作業内容、役割等を詳細に検討し文書化する。



▲図 3.2-1 移行ステップ(国保連合会移行計画書作成)

3.2.1 開始条件

以下に示すドキュメントを準備していること。

▼表 3.2-1 ドキュメント一覧

No.	名称	説明	提供者	提供時期
1	移行計画書	移行要件、移行方式、スケジュール、国保連合会の作業範囲等、移行に係る作業全般を規定した資料。	国保中央会	2025 年 4 月中旬

3.2.2 完了条件

- ① 以下に示す成果物の内容をステークホルダーと合意していること。

▼表 3.2-2 成果物一覧

No.	名称	説明	作成者
1	国保連合会移行計画書(クラウド環境への接続前までの日程及び調整計画)	国保連合会が作成する移行計画書。国保連合会の業務運用を考慮した移行スケジュールや役割等を記載した資料。第一段階として、移行ステップ「アクセス経路変更(事前作業)」を実施するために必要な日程及び調整について計画する。	国保連合会
2	国保連合会移行計画書(解体・撤去までを含むすべての計画)	国保連合会が作成する移行計画書。第二段階として、移行ステップ「クラウド環境への接続」から「解体・撤去」までの作業について計画する。また、「クラウド環境への接続」前までの計画を変更した場合の変更内容を記載する。	国保連合会

- ② 国保連合会独自システムを移行する場合、国保連合会は「▼表 3.2-3」に示すドキュメント及びツールが必要か検討し、必要に応じて国保連合会移行計画書に反映していること。

▼表 3.2-3 成果物一覧(国保連合会独自システム)

No.	名称	説明	作成者	作成期限
1	国保連合会独自システム移行ツール	国保連合会独自システムの移行に使用するツール。	国保連合会	移行ステップ「移行リハーサル」開始前まで
2	国保連合会独自システム移行手順書	国保連合会独自システムについて、以下の内容が記載された資料。 ・国保連合会独自システム移行ツールの実行や結果確認の作業手順 ・移行時に実施する関連作業(システム閉塞等)の作業手順 ・アクセス経路変更(当日作業)及び切り戻し時の作業手順	国保連合会	移行ステップ「移行リハーサル」開始前まで
3	独自試験計画書	国保中央会が提供する「運用試験手順兼成績書」の範囲に入らない国保連合会独自システムの試験や次期標準システムに対する独自試験の計画書を作成する。	国保連合会	移行ステップ「運用試験」開始前まで
4	独自試験仕様書	国保中央会が提供する「運用試験手順兼成績書」の範囲に入らない国保連合会独自システムの試験や次期標準システムに対する独自試験の仕様書を作成する。	国保連合会	移行ステップ「運用試験」開始前まで

3.2.3 留意事項

- ① 国保連合会移行計画書(クラウド環境への接続前までの日程及び調整計画)は移行ステップ「アクセス経路変更(事前作業)」までに作成し、国保連合会移行計画書(解体・撤去までを含むすべての計画)は移行ステップ「クラウド環境への接続」までに作成する。
- ② 「別紙 2 タイムチャート案」については国保中央会にて提供するものをもとに国保中央会と調整し、作成する。

3.2.4 実施時期

実施時期を「▼表 3.2-4」に示す。

▼表 3.2-4 実施時期

No.	移行ステップ	実施日	実施時期		備考
			国保連合会		
			着手可	完了期限	
1	国保連合会移行計画書作成 (クラウド環境への接続前までの日程及び調整計画)	制限なし	2025 年 5 月 16 日	2025 年 6 月 20 日	アクセス経路変更開始までに完了
2	国保連合会移行計画書作成 (解体・撤去までを含むすべての計画)	制限なし	2025 年 5 月 16 日	2025 年 8 月 15 日	クラウド環境接続までに完了

3.2.5 作業詳細

本ステップに係る作業内容及び担当者を「▼表 3.2-5」に示す。

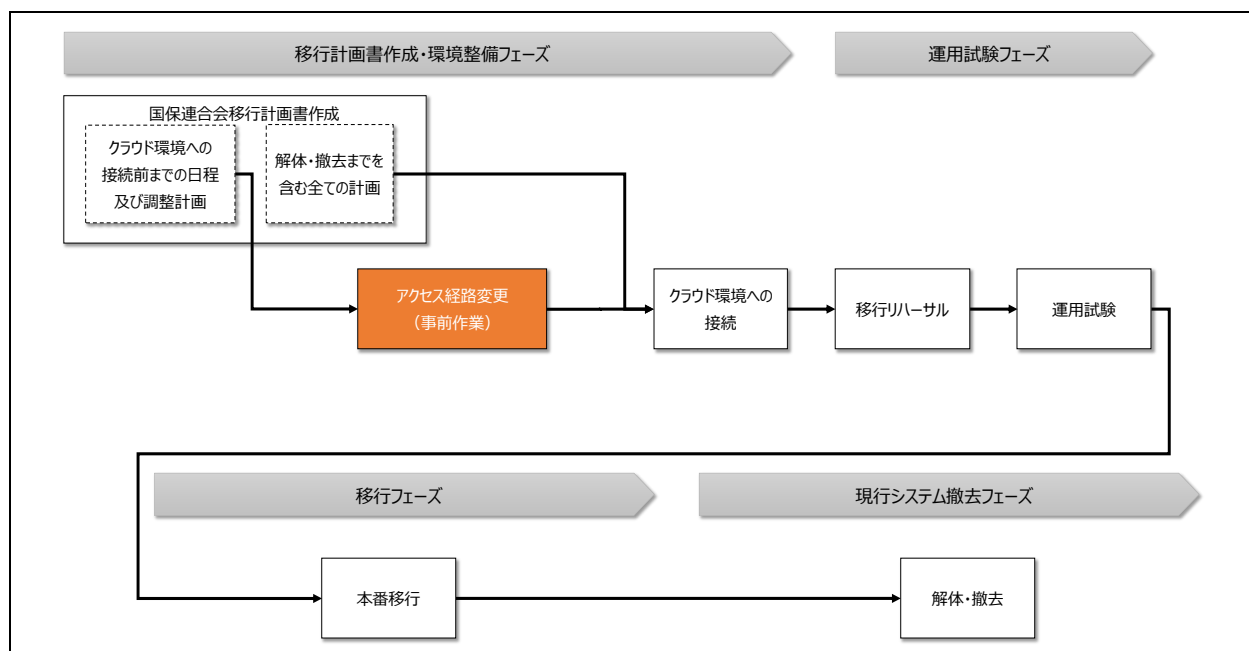
▼表 3.2-5 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	担当者	
			国保連合会	
			次期標準システム	現行標準システム
1	「移行計画書」確認	本書を精読し、移行の全体計画を把握する。	○	－
2	ステークホルダ洗い出し	「2.8.1 ステークホルダ」を参照し、ステークホルダを洗い出す。	○	－
3	ステークホルダへの説明	移行計画について、ステークホルダへ説明する。	○	－
4	ステークホルダとの調整	各作業の実施スケジュール、作業担当者、体制等をステークホルダと調整し、決定する。	○	－
5	国保連合会独自システムの検討	国保連合会独自システムの移行要否及び移行方法を検討する。	○	－
6	「国保連合会移行計画書」作成	別紙 3「国保連合会移行計画書の作成ポイント」を参考に、以下の内容を検討して「国保連合会移行計画書」を作成する。 ・移行ステップの「アクセス経路変更(事前作業)」から「解体・撤去」までの具体的な作業 ・ステークホルダの担当者及び連絡先 ・移行スケジュール ・国保連合会独自システムの移行要否及び移行計画	○	－
7	「国保連合会移行計画書」の合意	作成した「国保連合会移行計画書」をステークホルダへ周知し、合意を得る。	○	－

3.3 アクセス経路変更（事前作業）

本ステップでは、移行ステップ「クラウド環境接続確認」時に次期標準システムのネットワーク接続が円滑に行えるように、事前に各種ネットワーク機器の設定を変更する。

なお、各移行ステップにおけるアクセス経路変更の遷移については、別紙1「アクセス経路変更フロー」を参照。



▲図 3.3-1 移行ステップ(アクセス経路変更(事前作業))

アクセス経路変更(事前作業)は、本番稼働している現行標準システム及び他システムに影響を与えないよう、土日祝日又は、平日のオンライン閉局後(他システム含む)、夜間バッチ開始前までに実施する。

3.3.1 開始条件

- ① 以下に示すドキュメントを準備していること。

▼表 3.3-1 ドキュメント一覧

No.	名称	対象	説明	提供者	提供先	提供時期
1	グループポリシー一覧	【国保中央会】 データ集配信システム (オンプレ)	特定健診システム用の端末 参加用グループポリシーが 記載された一覧	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (オンプレ集配信)	2025 年 3 月末
2		【国保連合会】 データ集配信システム (オンプレ)	特定健診システム用の端末 参加用グループポリシーが 記載された一覧	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (オンプレ集配信)	2025 年 3 月末
3	IF-C02_設計情報フィードバックシート	【国保中央会】 データ集配信システム (オンプレ)	設計情報フィードバック資料 (WSUS 用)	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (オンプレ集配信)	2025 年 3 月末
4	(WSUS)	【国保連合会】 データ集配信システム (オンプレ)	設計情報フィードバック資料 (WSUS 用)	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (オンプレ集配信)	2025 年 3 月末
5	IF-C12_設計情報フィードバックシート (OCI) (WSUS)	OCI 集配信	設計情報フィードバック資料 (WSUS 用)	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (国保総合)	5 月中旬
6	IF-C04_設計情報フィードバックシート	【国保中央会】 データ集配信システム (オンプレ)	設計情報フィードバック資料 (ウイルスパターンファイル配信用)	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (オンプレ集配信)	2025 年 3 月末
7	(ウイルスパターンファイル配信)	【国保連合会】 データ集配信システム (オンプレ)	設計情報フィードバック資料 (ウイルスパターンファイル配信用)	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (オンプレ集配信)	2025 年 3 月末
8	IF-C14_設計情報フィードバックシート (OCI) (ウイルスパターンファイル配信)	OCI 集配信	設計情報フィードバック資料 (ウイルスパターンファイル配信用)	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (国保総合)	5 月中旬
9	IF-C15_設計情報フィードバックシート (OCI) (データ送受信)	データ集配信システム (OCI)	設計情報フィードバック資料 (データ送受信用)	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (OCI 集配信)	2025 年 4 月中旬

No.	名称	対象	説明	提供者	提供先	提供時期
10	通信要件一覧	【国保中央会】 国総保険者 FW	NW 機器に対して設定するための通信要件が記載された資料	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (国保総合)	2025年5月末
11		【国保連合会】 国総保険者 FW	NW 機器に対して設定するための通信要件が記載された資料	国保連合会	国保中央会 (国保総合)	2025年5月末
12		【国保中央会】 KDB FW	中央会、開発拠点と医療保険ネットワーク／データ集配信システム間の通信許可設定するための通信要件が記オン請求載された資料	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (オンプレ集配信) 国保中央会 (NTT 東日本)	2025年3月中旬
13		【国保連合会】 エッジスイッチ	NW 機器に対して設定するための通信要件が記載された資料	国保連合会	国保中央会 (NTT 東日本)	2025年5月中旬～ 2025年6月中旬
14	各連合会拠点における帯域制御設定値(連合会単位)(任意様式)	【国保連合会】 国総保険者 FW	各連合会拠点における帯域制御設定値	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (国保総合)	2025年3月末
15		NW 事業所	各連合会拠点における帯域制御設定値	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (国保総合)	2025年2月末
16	OCI 側にて使用するすべてのネットワークセグメント(内部、外部含む)(任意様式)	NW 事業所	OCI 側にて使用するすべてのネットワークセグメント	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (国保総合)	2025年2月末

No.	名称	対象	説明	提供者	提供先	提供時期
17	各連合会拠点 (10.190.xx.0/24)と通信する OCI 側のネットワークセグメント(連合会単位を想定)(任意様式)	NW 事業所	各連合会拠点 (10.190.xx.0/24)と通信する OCI 側のネットワークセグメント	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (国保総合)	2025 年 2 月末
18	外付けシステム接続申請シート	【国保連合会】 国総保険者 FW	外付けシステムを接続するための申請書	国保連合会	国保中央会 (国保総合)	2025 年 9 月上旬 ～ 2026 年 3 月下旬
19	別紙_外付けシステム接続申請用_通信要件一覧	【国保連合会】 国総保険者 FW	外付けシステム用の通信要件一覧	国保連合会	国保中央会 (国保総合)	2025 年 9 月上旬 ～ 2026 年 3 月下旬
20	IF-C13_設計情報フィードバックシート (OCI) (AD 信頼関係)	OCI 集配信	Active Directory 情報、ドメインコントローラの情報、DNS サーバの情報、が記載された資料	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (国保総合)	2025 年 4 月中旬
21	Fast Connect	通信センタ	健診機関⇒特定健診(OCI)接続を実現させるための通信要件が記載された資料	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (オン請求)	2025 年 4 月下旬
22	OCI 環境の各設定値(IP アドレス、VLAN、ASN 等)	通信センタ	健診機関⇒特定健診(OCI)接続を実現させるための通信要件が記載された資料	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (オン請求)	2025 年 4 月下旬
23	健診等機関のセグメント情報	通信センタ	健診機関⇒特定健診(OCI)接続を実現させるための通信要件が記載された資料	国保中央会 (インフラ構築)	国保中央会 (オン請求)	2025 年 4 月下旬

3.3.2 完了条件

- ① ドキュメント一覧にて受領した設定値をもとに、各ネットワーク機器の設定が完了していること。
- ② 以下に示す成果物が作成されていること。

▼表 3.3-2 成果物一覧

No.	名称	説明	作成者
1	作業結果報告書	各ネットワーク機器の設定時の作業結果を記載した資料	国保中央会(オンプレ集配信) 国保中央会(国保総合)

3.3.3 留意事項

- ① アクセス経路変更(事前作業)の実施日については、「▼表 3.2-1」にて示した「提供者」及び「提供先」間で調整を行い、アクセス経路変更(事前作業)の実施日を決定する。

3.3.4 実施時期

実施時期を「▼表 3.3-3」に示す。

▼表 3.3-3 実施時期

No.	移行ステップ	実施日	実施時期		備考
			国保連合会		
			着手可	完了期限	
1	アクセス経路変更(事前作業)(※)	※	2025 年 6 月 23 日	2025 年 8 月 15 日	クラウド環境接続までに完了

※「▼表 3.3 1 ドキュメント一覧」にて示した「提供者」及び「提供先」間で調整を行い、アクセス経路変更(事前作業)の実施日を決定する。

3.3.5 作業詳細

本ステップに係る作業内容及び担当者を以下に示す。

(1) 国保中央会側のデータ集配信システム(オンプレ)に対する設定

▼表 3.3-4 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	実施時期	担当者	
				国保連合会	国保中央会 (オンプレ集 配信)
1	特定健診システム用の端末についてドメイン参加	特定健診システム用端末参加用グループポリシーを設定	2025 年 5 月下旬	-	○
2	OCI 特定健診への接続のための DNS 参加	OCI 特定健診への DNS 参照設定 (DNS フォワダー)	2025 年 5 月下旬	-	○
3	共有フォルダ権限設定	共有フォルダの権限設定	2025 年 5 月下旬	-	○
4	ツール配置	特定健診システムの過渡期対応として共有フォルダの同期用ツールを配置する。	2025 年 5 月下旬	-	○

(2) 国保連合会側のデータ集配信システム(オンプレ)に対する設定

▼表 3.3-5 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	実施時期	担当者	
				国保連合会	国保中央会 (オンプレ集 配信)
1	特定健診システム用の端末についてドメイン参加	特定健診システム用端末参加用グループポリシーを設定	2025 年 6 月上旬～7 月下旬	-	○
2	OCI 特定健診への接続のための DNS 参加	OCI 特定健診への DNS 参照設定 (DNS フォワダー)	2025 年 6 月上旬～7 月下旬	-	○

(3) 国保連合会側のエッジスイッチに対する設定

▼表 3.3-6 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	実施時期	担当者	
				国保連合会	国保中央会 (NTT東)
1	特定健診(OCI)への通信経路追加	連合会の特定健診(OCI)への通信経路追加	2025 年 7 月中旬	-	○

(4) 国保連合会側の国総保険者 FW に対する設定

▼表 3.3-7 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	実施時期	担当者	
				国保連合会	国保中央会 (国保総合)
1	国総保険者 FW へのルーティング設定、通信許可設定	通信要件を基に国総保険者 FW へのルーティング設定、通信許可設定を行う。	2025 年 6 月上旬～ 2025 年 8 月下旬	-	○

(5) 国保中央会側の KDB FW に対する設定

▼表 3.3-8 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	実施時期	担当者	
				国保連合会	国保中央会 (オンプレ集配信)
1	医療保険ネットワーク／データ集配信システム間の通信許可設定	中央会、開発拠点と医療保険ネットワーク／データ集配信システム間の通信許可設定	2025 年 4 月中旬	-	○

(6) OCI 集配信に対する設定

▼表 3.3-9 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	実施時期	担当者		
				国保連合会	国保中央会 (国保総会)	国保中央会 (OCI集配信)
1	WSUS、ウイルス対策ソフトの更新プログラム配信設定	WSUS、ウイルス対策ソフトの更新プログラム配信を行うための設定変更を行う。	2025 年 5 月～ 6 月	-	○	-
2	AD 信頼関係設定	AD 信頼関係の設定変更を行う。	2025 年 8 月下旬	-	○	-
3	共有フォルダ権限設定	共有フォルダの権限設定	2025 年 8 月下旬	-	-	○

(7) NW 事業所に対する設定

▼表 3.3-10 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	実施時期	担当者	
				国保連合会	国保中央会 (国保総会)
1	NW 機器へのルーティング設定、通信許可設定	セグメント情報等を基にネットワーク接続事業所における NW 機器へのルーティング設定、通信許可設定を行う。	2025 年 4 月末	-	○

(8) 通信センタに対する設定

▼表 3.3-11 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	実施時期	担当者	
				国保連合会	国保中央会 (オン請求)
1	健診機関⇒特定健診(OCI)接続を実現させる作業	以下の作業を行う ・経路追加 ・特定健診向け Fast Connect 開通と接続	2025 年 7 月末	-	○

(9) 保険者 FW に対する設定

▼表 3.3-12 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	実施時期	担当者	
				国保連合会	国保中央会 (オン請求)
1	保険者 FW 設定変更	保険者 FW の設定追加を行う。	2025 年 7 月末 ～9 月	○	-

3.3.6 異常時対応

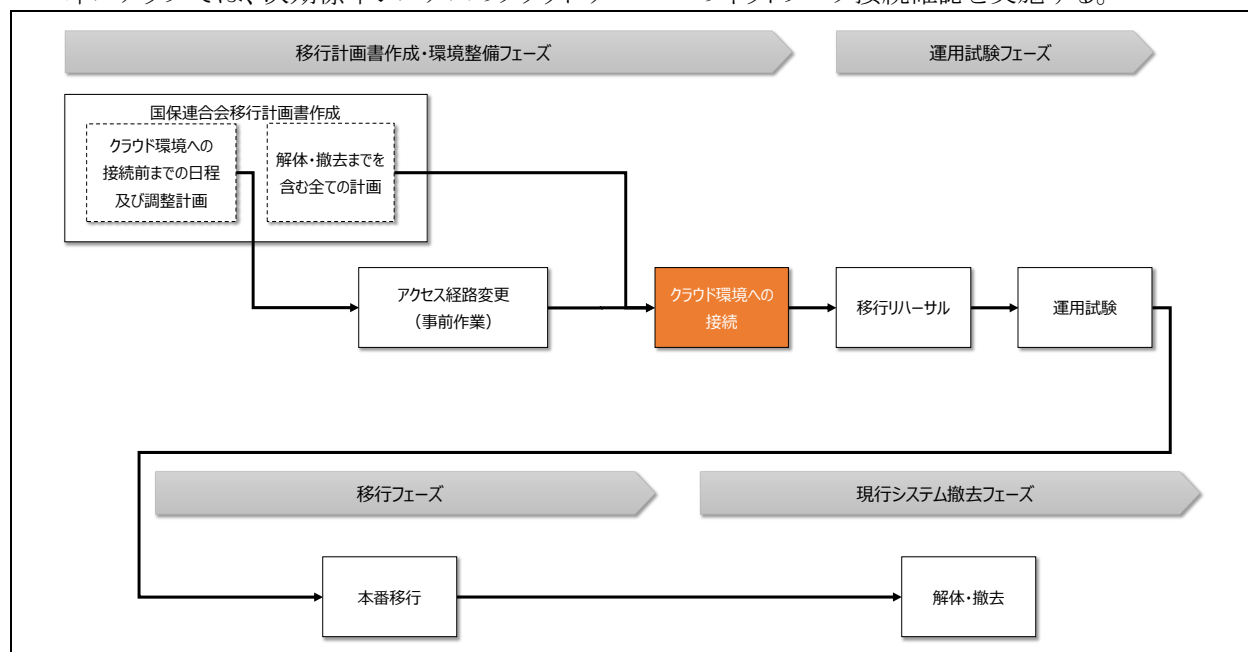
本ステップにおいて想定される異常及び対応策を「▼表 3.3-13」に示

▼表 3.3-13 想定される異常及び対応策

No.	想定される異常	対応策
1	アクセス経路変更(事前作業)後、現行標準システムに接続できない。	現行特定健診ヘルプデスクまでご連絡ください。
2	アクセス経路変更(事前作業)後、次期標準システムに接続できない。	次期特定健診ヘルプデスク(業務)及び次期特定健診ヘルプデスク(インフラ)までご連絡ください。
3	アクセス経路変更(事前作業)後、データ集配信システム(オンプレ)に接続できない。	現行特定健診ヘルプデスクまでご連絡ください。
4	アクセス経路変更(事前作業)後、データ集配信システム(OCI)に接続できない。	次期特定健診ヘルプデスク(業務)及び次期特定健診ヘルプデスク(インフラ)までご連絡ください。

3.4 クラウド環境への接続

本ステップでは、次期標準システムのクラウドサーバへのネットワーク接続確認を実施する。



▲図 3.4-1 移行ステップ(クラウド環境への接続)

3.4.1 開始条件

- ① 移行ステップ「国保連合会移行計画書作成」で、他システムと移行計画を合意していること。
- ② 移行ステップ「アクセス経路変更(事前作業)」が完了していること。
- ③ クラウド環境の準備が完了していること。
- ④ クラウド環境との疎通確認に使用する運用管理端末の設置または、その代替え機の準備が完了していること。
- ⑤ 以下に示すドキュメントを準備していること。

▼表 3.4-1 ドキュメント一覧

No.	名称	説明	提供者	提供時期
1	移行手順書	以下の内容等が記載された資料。 ・クラウドサーバネットワーク疎通確認の手順	国保中央会	2025 年 6 月 下旬

3.4.2 完了条件

- ① 移行手順書「クラウド環境疎通確認の手順」が正常終了すること。
- ② 以下に示す成果物を受領していること。

▼表 3.4-2 成果物一覧

No.	名称	説明	作成者
1	動作検証報告書	国保中央会が提供するネットワーク接続試験計画書に沿った動作検証結果を記載した資料。	国保連合会

3.4.3 留意事項

特になし。

3.4.4 実施時期

実施時期を「▼表 3.4-3」に示す。

▼表 3.4-3 実施時期

No.	移行ステップ	実施日	実施時期		備考
			国保連合会		
			着手可	完了期限	
1	クラウドサーバへの接続	制限なし	2025 年 8 月 18 日	2025 年 8 月 29 日	移行リハーサルまでに完了

3.4.5 作業詳細

本ステップに係る作業内容及び担当者を以下に示す。

(1) 接続確認

現行標準システム及び次期標準システムの接続を確認する。作業内容及び担当者については、「▼表 3.4-」を参照してください。

▼表 3.4-4 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	担当者			
			国保中央会	国保連合会		
				次期標準システム	現行標準システム	保険者DMZ共有システム担当者
1	疎通確認 (次期標準システム)	国保中央会が提供する「クラウドサーバネットワーク疎通確認の手順」を参照し、ネットワークレベルで疎通確認し、動作検証報告書に確認結果を記載する。		○		
2	接続確認 (現行標準システム)	連合会クライアントから現行標準システムのログイン画面が表示可能であることを確認する。 また、現行標準システムの運用管理サーバから各 DMZ の Web サーバにリモートデスクトップ接続可能であることを確認する。			○	
3	接続確認 (疑似健診等機関クライアント)	国保中央会の疑似健診等機関クライアントから現行標準システムの特定健診保健指導システムのログイン画面を表示可能であることを確認する。	○			
4	接続確認 (保険者 DMZ 共有システム)	現行のネットワークに問題ないか確認するため、Web サーバ等の保険者 DMZ に接続している機器にリモートデスクトップ接続可能であることを各システムの担当者が確認する。				○
5	作業結果報告	国保業務支援システムで国保中央会へ作業結果を報告する。		○		

3.4.6 異常時対応

本ステップにおいて想定される異常及び対応策を「▼表 3.4-5」に示す

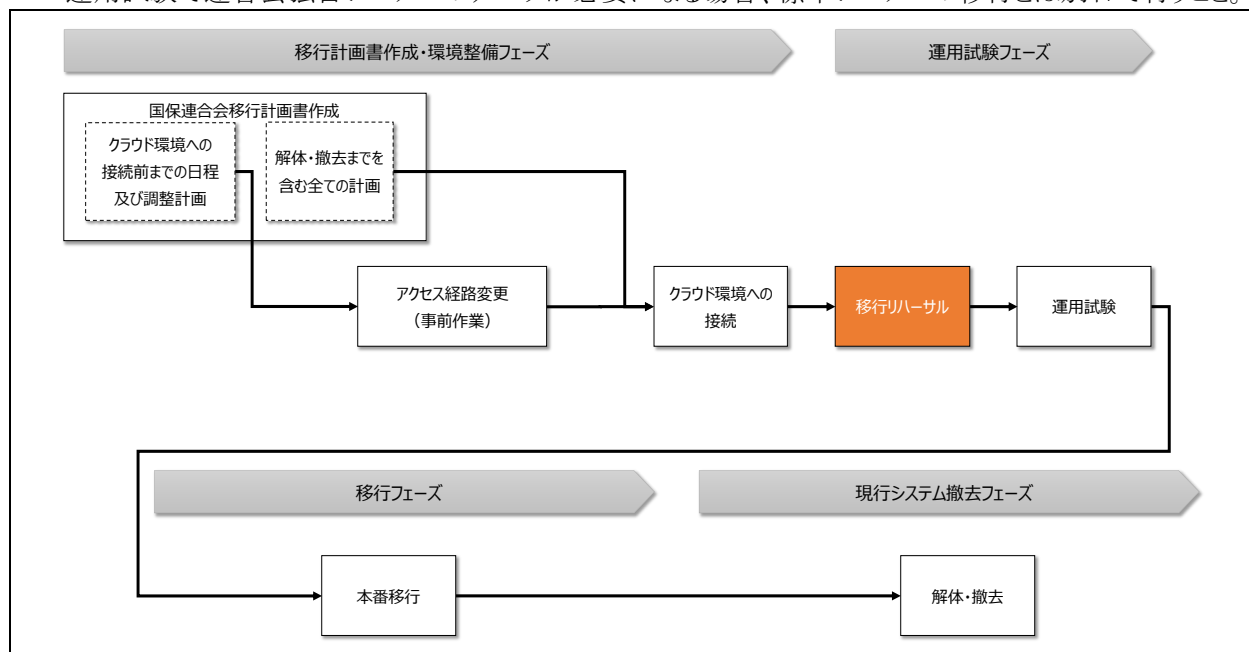
▼表 3.4-5 想定される異常及び対応策

No.	想定される異常	対応策
1	現行標準システム及び保険者 DMZ 共有システムへの通信エラー	国保連合会は現行特定健診ヘルプデスクと連携して対応する。現行標準システム及び保険者 DMZ 共有システムを利用可能とするために、暫定的に現行標準システムのネットワーク接続を作業前の状態に戻す。
2	次期標準システムへの通信エラー	国保連合会は次期特定健診ヘルプデスク(業務)、次期特定健診ヘルプデスク(インフラ)と連携して対応する。現行標準システムの通信に問題が無い場合は、暫定的にその時点の状態を維持する。

3.5 移行リハーサル

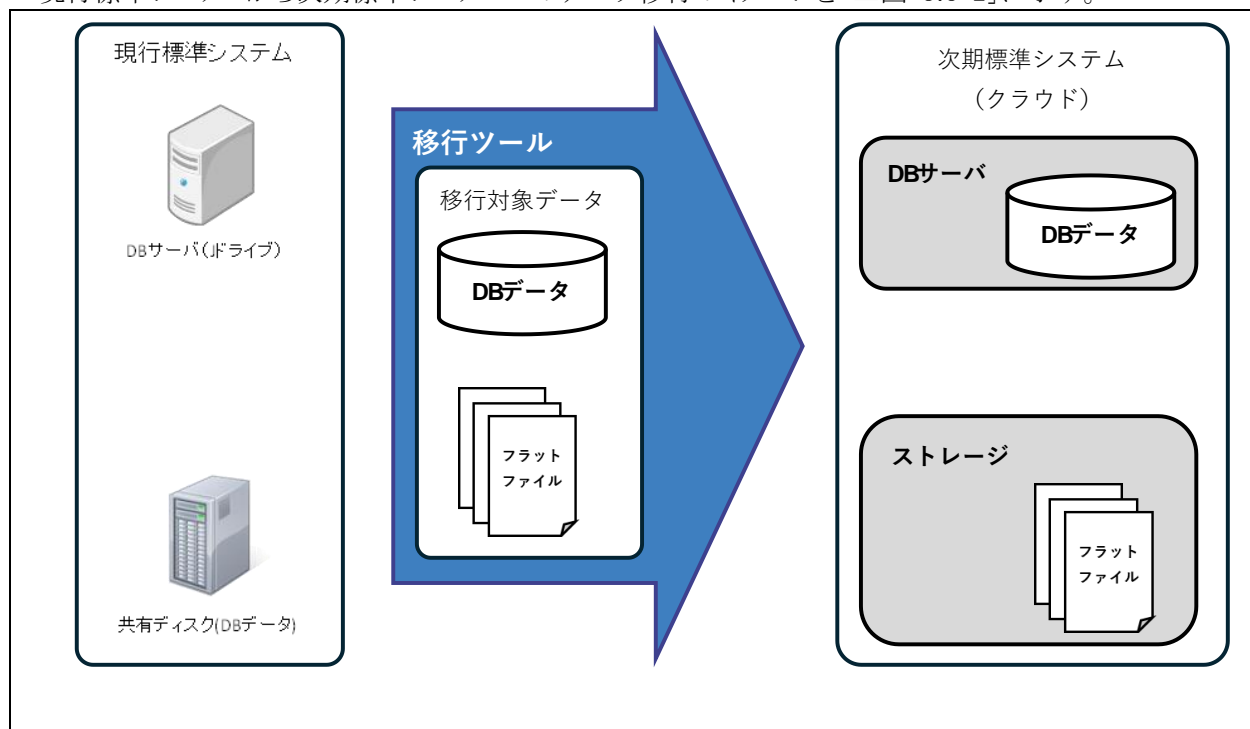
本ステップでは、現行標準システムから次期標準システムへのデータ移行を実施する。移行したデータは運用試験で利用する。データ移行を本番移行と同様の手順で実施し、国保連合会移行計画書の作業体制等の妥当性を確認する。

運用試験で連合会独自システムのデータが必要になる場合、標準システムの移行とは別日で行うこと。



▲図 3.5-1 移行ステップ(移行リハーサル)

現行標準システムから次期標準システムへのデータ移行のイメージを「▲図 3.5-2」に示す。



▲図 3.5-2 データ移行イメージ

3.5.1 開始条件

- ① 移行ステップ「クラウド環境への接続」が完了していること。
- ② 現行標準システムのオンライン、バッチ処理が停止していること。
- ③ 実施日程について、国保連合会と国保中央会の間で調整していること。
- ④ 以下に示すドキュメント及びツールを準備していること。

▼表 3.5-1 ドキュメント一覧

No.	名称	説明	提供者	提供時期
1	移行手順書 ※1	以下の内容等が記載された資料。 ・移行ツールの実行や結果確認の作業手順 ・移行時に実施する関連作業(システム閉塞等)の作業手順 ・アクセス経路変更(リハーサル作業)及び切り戻し時の作業手順	国保中央会 (アプリ開発) 国保中央会 (インフラ構築)	2025 年 6 月 下旬
2	移行手順書 ※2	以下の内容等が記載された資料。 ・移行ツールの実行や結果確認の作業手順 ・移行時に実施する関連作業(システム閉塞等)の作業手順 ・アクセス経路変更(リハーサル作業)及び切り戻し時の作業手順	国保中央会 (アプリ開発) 国保中央会 (インフラ構築)	2025 年 8 月 下旬
3	国保連合会独自システム移行手順書(国保連合会独自システムの移行を行う国保連合会のみ)	連合会独自システムの移行手順を記載した資料(国保連合会で準備する)。	国保連合会	—

※1 初回提供版

※2 総合試験実施時に発生した変更を取り込み提供

▼表 3.5-2 ツール一覧

No.	名称	説明	提供者	提供時期
1	DB データ抽出ツール	現行標準システムから移行対象の DB データを DMP ファイルとして抽出するツール。	国保中央会 (アプリ開発)	2025 年 8 月 下旬
2	フラットファイル用リストファイル作成ツール	現行標準システムの「J:MSCS-SHARE/kt dk/df」に格納されているファイルの一覧を作成するツール。	国保中央会 (アプリ開発)	2025 年 8 月 下旬
3	DB データ取込ツール	移行対象の DB データを DMP ファイルから次期標準システムへ取り込み及び検証を行うツール。	国保中央会 (インフラ構築)	2025 年 8 月 下旬
4	データ転送ツール	移行対象の DB データ抽出ツールで出力したログデータ、DMP ファイル及びフラットファイルを現行標準システムから次期標準システムへ転送するツール。	国保中央会 (インフラ構築)	2025 年 8 月 下旬
5	国保連合会独自システム用移行ツール(国保連合会独自システムを移行する国保連合会のみ)	連合会独自システムの移行をするツール(国保連合会で準備する)。	国保連合会	—

※ No.1～4 の移行ツールの詳細は「4 移行ツール及び移行手順書」を参照すること。

3.5.2 完了条件

- ① DB データを移行済みであること。
- ② フラットファイルを移行済みであること。
- ③ 移行時間、タイムチャート、作業体制の確認ができたこと。
- ④ 次期標準システムにログインできること。
- ⑤ 切り戻しに要した時間をタイムチャートに反映していること。
- ⑥ 以下に示す成果物が作成されていること。

▼表 3.5-3 成果物一覧

No.	名称	説明	作成者
1	国保連合会移行計画書(見直し後)	本ステップの評価内容を反映した計画書。	国保連合会
2	移行ツール実行ログ(抽出)	本ステップで使用した移行ツールの実行ログ。	国保連合会
3	移行ツール実行ログ(データ転送)	本ステップで使用した移行ツールの実行ログ。	国保中央会 (インフラ構築)
4	移行ツール実行ログ(DB データ投入)	本ステップで使用した移行ツールの実行ログ。	国保中央会 (インフラ構築)

3.5.3 留意事項

- ① DB データ抽出とDB データ転送は現行標準システムを停止する必要があるため、実施日程は金曜の夜間(夜間バッチ終了後)、土日祝日とする。
- ② 毎月第2土曜日はKDBシステム連携処理が動作するため、実施候補日から除外する。
- ③ 移行リハーサル各作業の実績時間をタイムチャート(移行リハーサル)の実績時間へ反映する。
- ④ 移行リハーサル終了後はタイムチャート(移行リハーサル)の実績を精査した後、本番移行までにタイムチャート(本番移行)の予定時間へ反映する。
- ⑤ 移行ステップ「運用試験」までに業務アプリケーションを導入する。
- ⑥ 業務アプリケーションを導入後、移行ステップ「運用試験」までにバックアップを実施する。また、バックアップにかかった所要時間をタイムチャート(本番移行)の予定時間に反映する。
- ⑦ 移行対象データが第三者へ漏洩しないための対策として、以下を実施する。
 - ・ 現行標準システムから次期標準システムへのデータ転送については、国保連合会から国保連医療保険、国総のネットワークを介して転送すること。
 - ・ データ転送先のストレージ領域については、アクセス制御を施すことで他の国保連合会からの閲覧ができないようにすること。
- ⑧ 移行ステップ「移行リハーサル」の実施時に、誤りが発覚した場合、暫定対応もしくは恒久対応を行い、移行ステップ「移行リハーサル」は継続して行う。
「移行リハーサル」の再実施が必要と判断した場合、「移行リハーサル予備」までに修正し、「移行リハーサル(予備)」を実施する。

3.5.4 実施時期

実施時期を「▼表 3.5-4」に示す。

▼表 3.5-4 実施時期

No.	移行ステップ	実施日	実施時期		備考
			国保連合会		
			着手可	完了期限	
1	移行リハーサル	土日 祝日	2025 年 10 月 18 日	2025 年 10 月 20 日	
2	移行リハーサル(予備)	土日 祝日	2025 年 12 月 20 日	2025 年 12 月 22 日	

3.5.5 作業詳細

本ステップに係る作業内容及び担当者を以下に示す。

(1) 標準システムデータ移行

▼表 3.5-5 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	担当者	
			国保連合会	国保中央会
1	現行標準システム停止確認	現行標準システムのオンライン、バッチ処理が停止していることを確認する。	○	－
2	DB データ抽出	DB データ抽出ツールを実行し、現行標準システムの DB から DMP ファイルを作成する。	○	－
3	フラットファイル用リストファイル作成	フラットファイル用リストファイル作成を実行し、現行標準システムの「J:MSCS-SHARE/kt dk/df」に格納されているファイルの一覧を作成する。	○	－
4	ログ確認(DB データ抽出)	本ステップで使用した移行ツールのログを確認し、エラーが発生していないことを確認する。また、移行時間見積もりツールの結果と実際に各作業に要した時間の差異を確認し、タイムチャートに反映する。	○	－
5	データ転送	データ転送ツールを実行し、現行標準システムから次期標準システムに移行対象の DMP ファイル及びフラットファイルを転送する。	－	○
6	DB データ取込	DB データ取込ツールを実行し、次期標準システムに DB データを取り込む。 DB データ取り込み後、統計情報を取得する。	－	○
7	ログ確認(データ転送・DB データ取込)	本ステップで使用した移行ツールのログを確認し、エラーが発生していないことを確認する。また、移行時間見積もりツールの結果と実際に各作業に要した時間の差異を確認し、タイムチャートに反映する。	－	○
8	次期向け変更取込	DB 及びフラットファイルに対して、次期向けの変更を実施する。	○	－
9	バックアップ	移行後断面でフルバックアップを行う。	－	○
10	作業結果報告	国保業務支援システムで国保中央会へ作業結果を報告する。	○	○

(2) 国保連合会独自システム移行

事前に国保連合会が作成した手順書等を参照し、連合会独自システムを移行する。

(3) アクセス経路変更(リハーサル作業)

・標準システム

作業内容及び担当者を「▼表 3.5-6」に示す。

▼表 3.5-6 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	担当者				
			国保 連合会				国保 中央会
			次期 標準 システム	現行 標準 システム	デー タ集 配信 シス テム (オン プレ)	セキ ュリ ティ 等管 理シ ス テム	セキ ュリ ティ 等管 理シ ス テム
1	疎通確認	運用管理端末からデータ管理システム及び保健指導システムの Web サーバへの疎通を確認する。	○	-	-	-	-
2	ファイル転送サーバ疎通確認	次期標準システムからファイル転送サーバへの疎通を確認する。	○	-	-	-	-
3	共通認証局(CRLの取得)疎通確認	次期標準システムから共通認証局への疎通を確認する。	○	-	-	-	-
4	KDBルート疎通確認	次期標準システムからKDBへの疎通を確認する。	○	-	-	-	-
5	接続確認	次期標準システムのログイン画面が表示できることを確認する。	○	-	-	-	-
6	次期標準システム閉局	次期標準システムの随時ジョブネットでオンライン閉局する。	○	-	-	-	-

・セキュリティ等管理システム

次期標準システムとセキュリティ等管理システムの移行リハーサル実施時期が異なるため、本書では記載せず、セキュリティ等管理システムの計画書を参照とする。

(4) 切り戻し

アクセス経路変更(リハーサル作業)と逆の手順で切り戻しを行う。

▼表 3.5-7 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	担当者			
			国保連合会			
			次期標準システム	現行標準システム	データ集配信システム (オンプレ)	セキュリティ等管理システム
1	切り戻し作業開始連絡	国保業務支援システムで国保中央会へ切り戻し作業開始を連絡する。	○	-	-	-
2	次期標準システム閉局	次期標準システムの随時ジョブネットでオンライン閉局する。	○	-	-	-
3	疎通確認	現行標準システムの運用管理サーバから保険者のWebサーバへの疎通を確認する。	-	○	-	-
4	データ集配信システム疎通確認	現行標準システムからデータ集配信システムへの疎通を確認する。	-	○	-	-
5	作業結果報告	国保業務支援システムで国保中央会へ作業結果を報告する。	-	○	-	-

(5) 評価

移行ステップ「移行リハーサル」の結果を評価する。

▼表 3.5-8 評価

No.	作業名	作業内容	担当者	
			国保連合会	
			次期標準システム	現行標準システム
1	評価	移行時間、タイムチャート、作業体制等の妥当性を評価する。 国保連合会移行計画書や国保連合会独自システムの手順書等に誤りが見つかった場合は、「移行リハーサル予備」までに修正する。	○	-

3.5.6 異常時対応

本ステップにおいて想定される異常及び対応策を「▼表 3.5-9」に示す

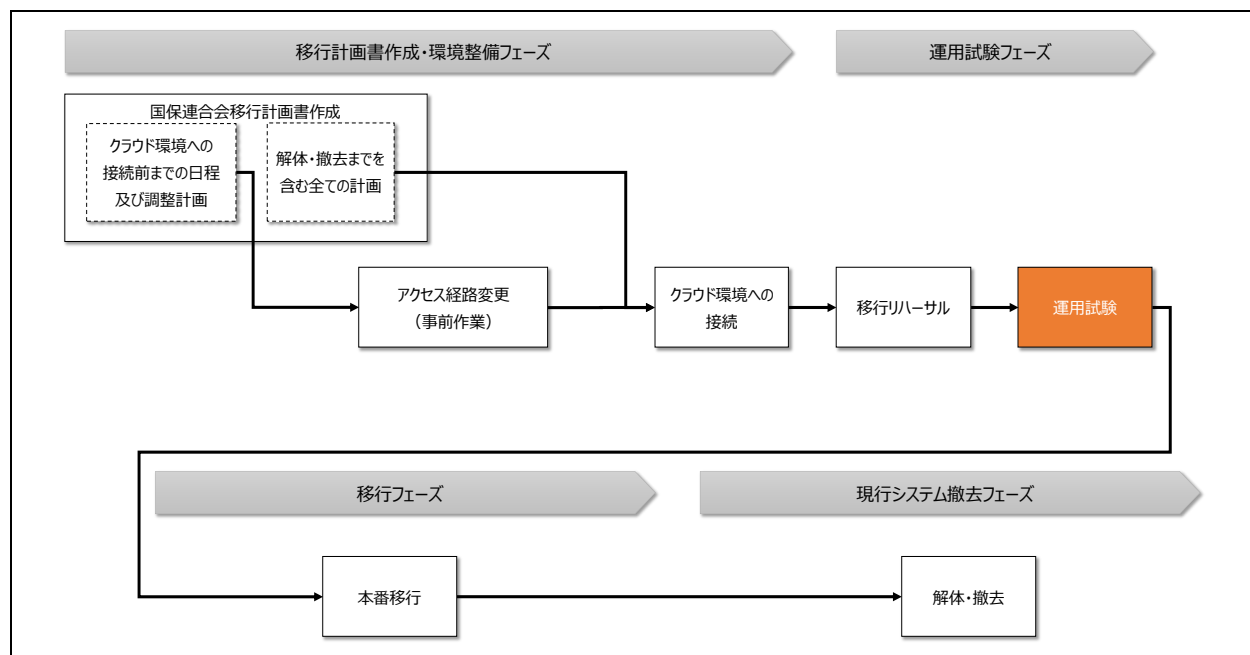
▼表 3.5-9 想定される異常及び対応策

No.	想定される異常	対応策
1	国保中央会から提供されたツールが異常終了した。	異常終了時のログ及び画面キャプチャー等采取し、次期特定健診ヘルプデスクに連絡する。
2	国保中央会から提供されたツールが終了しない。	想定時間を超えて終了しない場合は、次期特定健診ヘルプデスク宛てに連絡する。
3	国保中央会から提供された手順書の不備により、手順が続行できない。	次期特定健診ヘルプデスクに不備内容を連絡する。
4	国保中央会から提供されたツールの実施結果が想定と異なる。	次期特定健診ヘルプデスクに事象を連絡する。
5	アクセス経路変更(リハーサル作業)後、データ管理システム Web サーバに接続できない。	次期特定健診ヘルプデスクまでご連絡ください。
6	切り戻し後、現行標準システムに接続できない	次期特定健診ヘルプデスクまでご連絡ください。

3.6 運用試験

本ステップでは、国保中央会が提供する運用試験手順兼成績書(成績未記入版)をもとに、次期標準システムでの本番運用を想定した試験を国保連合会が実施し、機能・性能等に運用上の問題がないか確認する。

なお、独自試験は、国保連合会が作成する国保連合会独自システム及び独自運用の試験。後ステップまでに完了させる必要があるかは、国保連合会が判断すること。



▲図 3.6-1 移行ステップ(運用試験)

運用試験は、以下の2つに分類される。

① 必須試験

必須試験は、国保中央会が提供する運用試験手順兼成績書(成績未記入版)に記載の試験の中で、国保連合会が必ず実施しなければならない試験。本番移行前に完了させる必要がある。

② 任意試験

任意試験は、国保中央会が提供する運用試験手順兼成績書(成績未記入版)に記載の試験の中で、国保連合会が任意に実施する試験。実施する場合、本番移行前に完了させる必要がある。

3.6.1 開始条件

- ① 移行ステップ「移行リハーサル」が完了していること。
- ② 移行ステップ「移行リハーサル」後の業務アプリケーション導入を完了していること。
- ③ 移行ステップ「移行リハーサル」後のバックアップを取得していること。
- ④ 運用試験で使用する運用管理端末を準備していること。
- ⑤ 他システムと連携する試験を行う場合、他システム担当者と試験日程や試験方法等を調整していること。
- ⑥ 以下に示すドキュメントを準備していること。

▼表 3.6-1 ドキュメント一覧

No.	名称	説明	提供者	提供時期
1	運用試験手順兼成績書(成績未記入版)	次期標準システムの運用試験について、テストシナリオ及びテスト項目を記載した資料。	国保中央会(アプリ開発) 国保中央会(インフラ構築)	2025 年 9 月中旬
2	運用試験手順兼成績書(成績未記入版)※1	次期標準システムの運用試験について、テストシナリオ及びテスト項目を記載した資料。	国保中央会(アプリ開発) 国保中央会(インフラ構築)	2025 年 10 月中旬
3	運用試験手順兼成績書(成績未記入版)※2	次期標準システムの運用試験について、テストシナリオ及びテスト項目を記載した資料。	国保中央会(アプリ開発) 国保中央会(インフラ構築)	2025 年 11 月中旬

※1 総合試験実施時に変更が発生した場合にのみ提供

※2 先行試験実施時に変更が発生した場合にのみ提供

3.6.2 完了条件

- ① 以下に示す成果物を作成し、国保中央会へ送付していること。

▼表 3.6-2 成果物一覧

No.	名称	説明	記入者
1	運用試験手順兼成績書	国保中央会から提供された運用試験手順兼成績書(成績未記入版)に国保連合会の運用試験結果を記入した資料。	国保連合会

3.6.3 留意事項

特になし。

3.6.4 実施時期

実施時期を「▼表 3.6-3」に示す。

▼表 3.6-3 実施時期

No.	移行ステップ	実施 日	実施時期		備考
			国保連合会		
			着手可	完了期限	
1	運用試験	制限 なし	2025 年 12 月上旬	2026 年 2 月 27 日	

3.6.5 作業詳細

2025 年 3 月時点で想定している試験内容を「▼表 3.6-4」に示す。詳細な試験内容については、国保中央会から提供する「運用試験シナリオ一覧」及び「運用試験手順兼成績書(成績未記入版)」を参照すること。

▼表 3.6-4 運用試験内容(想定)

No.	分類	説明
1	必須試験	以下の条件に該当する機能を対象に実施する。 ・オンライン処理のうち、新規で追加する機能(外付システムから標準化する機能等)及び運用を変更する機能(維持管理ツールからオンライン化する機能等) ・バッチ処理のうち、全国決済と随時バッチを除く機能(※) ・運用管理・障害対策マニュアルに記載している基盤機能
2	任意試験	標準システム機能のうち、必須試験の試験対象外の機能を国保連合会が任意で実施する。
3	独自試験	国保連合会が作成する連合会独自システム及び独自運用を対象に実施する。

※ 他システムへデータを連携する機能は、特定健診システム内に作成データを配置する部分までを必須試験とする。任意試験の調整内容については「2.9.2 他システムとの調整事項」を参照。

3.6.6 異常時対応

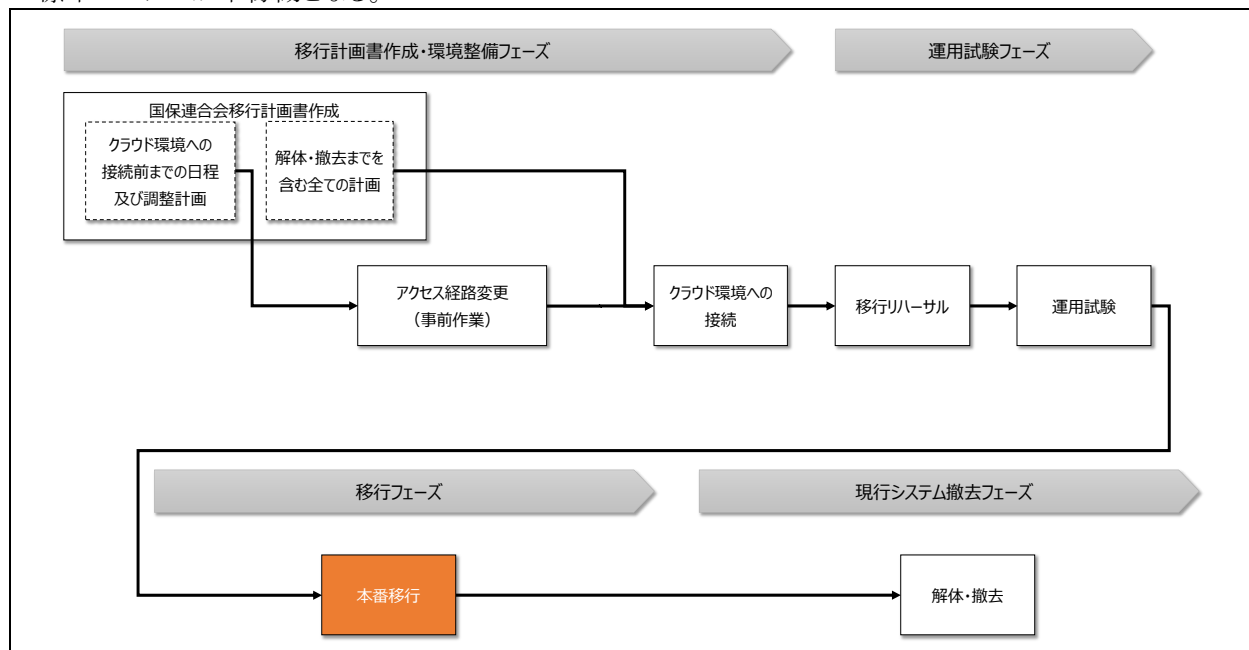
本ステップにおいて想定される異常及び対応策を「▼表 3.6-5」に示す。

▼表 3.6-5 想定される異常及び対応策

No.	想定される異常	対応策
1	インフラ障害 (システム起動不可、アクセス不可等)	次期特定健診ヘルプデスク(インフラ)に連絡すること。
2	運用試験(必須試験、任意試験)で想定とは異なる動作結果となった場合	既知の故障でないか確認すること。 未知の故障である場合、動作結果が分かるログ及び画面キャプチャー等を採取の上、次期特定健診ヘルプデスクに連絡すること。
3	独自試験で想定する動作と異なる結果となった場合	国保連合会で、対応すること。

3.7 本番移行

本ステップでは、データ移行及びアクセス経路変更(当日作業)を実施する。本ステップ完了により次期標準システムが本稼働となる。



▲図 3.7-1 移行ステップ(本番移行)

3.7.1 開始条件

- ① 移行ステップ「運用試験」が完了していること。
- ② 現行標準システムが停止していること。
- ③ 実施日程について、国保連合会と国保中央会の間で調整していること。
- ④ 以下に示すドキュメント及びツールを準備していること。

▼表 3.7-1 ドキュメント一覧

No.	名称	説明	提供者	提供時期
1	移行手順書	以下の内容が記載された資料。 ・移行ツールの実行や結果確認の作業手順 ・移行時に実施する関連作業(システム閉塞等)の作業手順 ・アクセス経路変更(当日作業)及び切り戻し時の作業手順	国保中央会	2025 年 8 月下旬
2	国保連合会独自システム移行手順書(国保連合会独自システムを移行する国保連合会のみ)	連合会独自システムの移行手順を記載した資料(国保連合会で準備する)。	国保連合会	—

▼表 3.7-2 ツール一覧

No.	名称	説明	提供者	提供時期
1	DB データ抽出ツール	現行標準システムから移行対象のDB データを DMP ファイルとして抽出するツール。	国保中央会 (アプリ開発)	2025 年 8 月 下旬
2	フラットファイル用リストファイル作成ツール	現行標準システムの「J:MSCS-SHARE/ktdk/df」に格納されているファイルの一覧を作成するツール。	国保中央会 (アプリ開発)	2025 年 8 月 下旬
3	DB データ取込ツール	移行対象の DB データを DMP ファイルから次期標準システムへ取り込み及び検証を行うツール。	国保中央会 (インフラ構築)	2025 年 8 月 下旬
4	データ転送ツール	移行対象の DB データ抽出ツールで出力したログデータ、DMP ファイル及びフラットファイルを現行標準システムから次期標準システムへ転送するツール。	国保中央会 (インフラ構築)	2025 年 8 月 下旬
5	国保連合会独自システム用移行ツール(国保連合会独自システムを移行する国保連合会のみ)	連合会独自システムの移行をするツール(国保連合会で準備する)。	国保連合会	—

※ No.1～4 の移行ツールの詳細は「4 移行ツール及び移行手順書」を参照すること。

3.7.2 完了条件

- ① 次期標準システムが正常に稼働していること。
- ② DB データを移行済みであること。
- ③ フラットファイルを移行済みであること。
- ④ 次期標準システムからデータ集配信システム(OCI)に接続できること。
- ⑤ 次期標準システムにログインできること。
- ⑥ 「▼表 3.7-3」に示す成果物を作成していること。

▼表 3.7-3 成果物一覧

No.	名称	説明	作成者
1	移行ツール実行ログ(抽出)	本ステップで使用した移行ツールの実行ログ。	国保連合会
2	移行ツール実行ログ(データ転送)	本ステップで使用した移行ツールの実行ログ。	国保中央会 (インフラ構築)
3	移行ツール実行ログ(DB データ投入)	本ステップで使用した移行ツールの実行ログ。	国保中央会 (インフラ構築)

3.7.3 留意事項

- ① アクセス経路変更(当日作業)及び切り戻し時に現行標準システムのオンライン処理が実施できなくなるため、実施日程は金曜の夜間(夜間バッチ終了後)、土日祝日とする。なお、ネットワーク切替及び切り戻しによる他システムへの影響はない。
- ② 毎月第2土曜日はKDBシステム連携処理が動作するため、実施候補日から除外する。
- ③ 本番移行各作業の所要時間をタイムチャート(本番移行)の実績時間へ反映する。
- ④ 本番移行の作業後、次期標準システムの運用開始までにバックアップを実施する。
- ⑤ 本番移行はセキュリティ等管理システムの更改と同時移行となるため、連携を密にして切替スケジュールを策定する。
- ⑥ 移行作業中に発生した残障害が、今後の運用に支障がないと判断された場合、移行完了とする。
- ⑦ 移行対象データが第三者へ漏洩しないための対策として、以下を実施する。
 - ・ 現行標準システムから次期標準システムへのデータ転送については、国保連合会から国保連医療保険、国総のネットワークを介して転送すること。
 - ・ データ転送先のストレージ領域については、アクセス制御を施すことで他の国保連合会からの閲覧ができないようにすること。

3.7.4 実施時期

実施時期を「▼表 3.7-4」に示す。

▼表 3.7-4 実施時期

No.	移行ステップ	実施 日	実施時期		備考
			国保連合会		
			着手可	完了期限	
1	本番移行	土日 祝日 (※1)	2026 年 2 月 21 日	2026 年 2 月 23 日	

※1 第 2 土曜日を除く。(KDB システム連携処理が動作するため)。

3.7.5 作業詳細

本ステップに係る作業内容及び担当者を以下に示す。

(1) 標準システムデータ移行

標準システムデータ移行について作業内容及び担当者を「▼表 3.7-5」に示す。

▼表 3.7-5 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	担当者	
			国保連合会	国保中央会
1	現行標準システム停止確認	現行標準システムのオンライン、バッチ処理が停止していることを確認する。	○	－
2	次期標準システム走行確認	次期標準システムのジョブが走行していないことを確認する。	○	－
3	次期標準システム閉局	次期標準システムの随時ジョブネットでのオンライン閉局する。	○	－
4	次期標準システム閉局確認	次期標準システムのオンラインが閉局していることを確認する。	○	－
5	DB データ抽出	DB データ抽出ツールを実行し、現行標準システムの DB から DMP ファイルを作成する。	○	－
6	フラットファイル用リストファイル作成	フラットファイル用リストファイル作成ツールを実行し、現行標準システムの「J:MSCS-SHARE/kt dk/df」に格納されているファイルの一覧を作成する。	○	－
7	ログ確認(DB データ抽出)	本ステップで利用した移行ツールのログを確認し、エラーが発生していないことを確認する。また、移行時間見積りツールの結果と実際に各作業に要した時間の差異を確認し、タイムチャートに反映する。	○	－
8	データ転送	データ転送ツールを実行し、現行標準システムから次期標準システムに移行対象の DMP ファイル及びフラットファイルを転送する。	－	○
9	DB データ取込	DB データ取込ツールを実行し、次期標準システムで DB データ取込を実施する。 DB データ取り込み後、統計情報を取得する。	－	○

No.	作業名	作業内容	担当者	
			国保連合会	国保中央会
10	ログ確認(データ転送・DB データ取込)	本ステップで使用した移行ツールのログを確認し、エラーが発生していないことを確認する。また、移行時間見積もりツールの結果と実際に各作業に要した時間の差異を確認し、タイムチャートに反映する。	-	○
11	次期向け変更取込	DB 及びフラットファイルに対して、次期向けの変更を実施する。	○	-
12	バックアップ	移行後断面でフルバックアップを行う。	-	○
13	次期標準システム開局	次期標準システムのスケジュールジョブネットを再登録する。また、随時ジョブネットでオンライン開局する。	○	-
14	接続確認	次期標準システムにログインできることを確認する。	○	-

(2) 国保連合会独自システムの移行

事前に国保連合会が作成した手順書等を参照し、連合会独自システムを移行する。

(3) アクセス経路変更(当日作業)

・標準システム

作業内容及び担当者を「▼表 3.7-6」に示す。

▼表 3.7-6 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	担当者					
			国保連合会				国保中央会	
			次期標準システム	現行標準システム	データ集配信システム (オンプレ)	セキュリティ等管理システム	NTT東日本	セキュリティ等管理システム
1	DNS切替 (健診等機関用)	健診等機関用端末向けの DNS 切替を実施する。	-	-	-	-	○	-
2	疎通確認	運用管理端末からデータ管理システム及び保健指導システムの Web サーバへの疎通を確認する。	○	-	-	-		-
3	ファイル転送サーバ疎通確認	次期標準システムからファイル転送サーバへの疎通を確認する。	○	-	-	-		-
4	共通認証局(CRLの取得)疎通確認	次期標準システムから共通認証局への疎通を確認する。	○	-	-	-		-
5	KDBルート疎通確認	次期標準システムからKDBへの疎通を確認する。	○	-	-	-		-
6	既存業務端末設定変更	既存業務端末に対して、接続先変更等の設定を行う	○	-	-	-		-
7	接続確認(既存業務端末設定変更後)	既存業務端末設定変更後、次期標準システムのログイン画面が表示できることを確認する。	○	-	-	-		-
8	次期標準システム閉局	次期標準システムの随時ジョブネットでオンライン閉局する。	○	-	-	-		-

- ・セキュリティ等管理システム
作業内容及び担当者を「▼表 3.7-7」に示す。

▼表 3.7-7 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	担当者					
			国保 連合会				国保 中央 会	
			次期標準システム	現行標準システム	データ集配信システム (オンプレ)	セキュリティ等管理システム	NTT東日本	セキュリティ等管理システム
1	DNS サーバ切替	連合会クライアントの DNS サーバを現行システムから次期システムへ切替える。	-	-	-	○		-
2	ITDM の DB バックアップ	現行サーバに外付け HDD を接続し、ITDM の DB をバックアップする。	-	-	○	○		-
3	ITDM の DB リストア	次期サーバに外付け HDD を接続し、ITDM の DB をリストアする。	-	-	-	○		-
4	ITDM のエージェント移行	現行保険者向けセキュリティ対策サーバを抜線し、次期保険者向けセキュリティ対策サーバを接続、次期サーバにてエージェントを次期サーバに移行する。 移行完了後、次期システムに接続変更する。	-	-	○	○		-
5	Apex One の DB バックアップ	現行サーバに外付け HDD を接続し、Apex One の DB をバックアップする。	-	-	○	○	-	-
6	Apex One の DB リストア	次期サーバに外付け HDD を接続し、Apex One の DB をリストアする。	-	-	-	○	-	-
7	Apex One のエージェント移行	現行サーバから次期サーバにエージェントを移行する。	-	-	○	○	-	-
8	WSUS のレプリカ設定	ファイル転送サーバとパッチ管理をレプリカに設定し、同期を行う。 パッチ管理サーバと保険者向けセキュリティ対策サーバをレプリカに設定し、同期を行う。	-	-	-	○	-	-
9	Deep Security の Linux エージェント設定変更	Linux エージェントを現行から次期の Manager へ設定変更する。	-	-	○	○	-	-
10	FW ログのバックアップ	現行運用連携サーバに外付け HDD を接続し、FW ログをバックアップする。	-	-	○	○	-	-
11	FSMO 昇格	次期ドメインコントローラを FSMO に昇格させる。	-	-	-	○	-	-

No.	作業名	作業内容	担当者					
			国保 連合会				国保 中央 会	
			次期 標準 システム	現行 標準 システム	データ 集配信 システム (オンプレ)	セキュリ ティ等 管理シ ステム	NTT東 日本	セキュリ ティ等 管理シ ステム
12	DC 降格	現行ドメインコントローラ、運用連携サーバを DC からメンバーサーバーに降格させる。	-	-	○	○	-	-
13	エッジ SW/エッジルーターの切替	エッジ SW/エッジルーターから現行集配信 FW を切断する。	-	-	○	○	-	-
14	保険者向け DMZ の切替	保険者向け FW から特定健診 L2SW を切断し、保険者向け DMZ 用 L2SW を接続する。	-	-	-	○	-	-
15	連合会独自 NW 機器の切替	連合会独自 NW 機器を現行から次期のコア SW に切替える。	-	-	-	○	-	-
16	接続確認	各標準システムの接続確認を行う。	-	-	-	○	-	-

(4) 本稼働判定

本番移行の結果、本稼働を開始してよいか判定する。

▼表 3.7-8 作業内容及び担当者

No.	作業名	作業内容	担当者	
			国保連合会	国保中央会
1	本稼働判定	国保連合会が次期標準システムの本稼働判定を実施する。判定結果については国保業務支援システムで国保中央会へ報告する。	○	－

3.7.6 異常時対応

本ステップにおいて想定される異常及び対応策を「▼表 3.7-9」に示す。

▼表 3.7-9 想定される異常及び対応策

No.	想定される異常	対応策
1	国保中央会から提供されたツールが異常終了した。	異常終了時のログ及び画面キャプチャー等采取し、次期特定健診ヘルプデスクまでご連絡ください。
2	国保中央会から提供されたツールが終了しない。	想定時間を超えて終了しない場合、次期特定健診ヘルプデスク(業務)及び次期特定健診ヘルプデスク(インフラ)までご連絡ください。
3	国保中央会から提供された手順書の不備により、手順が続行できない。	次期特定健診ヘルプデスク(業務)及び次期特定健診ヘルプデスク(インフラ)まで不備内容をご連絡ください。
4	国保中央会から提供されたツールの実施結果が想定と異なる。	次期特定健診ヘルプデスク(業務)及び次期特定健診ヘルプデスク(インフラ)まで事象をご連絡ください。
5	ネットワーク切替後、Web サーバに接続できない。	次期特定健診ヘルプデスクまでご連絡ください。
6	ネットワーク切替後、データ交換サーバに接続できない。	次期特定健診ヘルプデスクまでご連絡ください。
7	連合会独自システム用移行ツールが異常終了した。	国保連合会で、ご対応ください。
8	連合会独自システムの移行結果が異常となった。	国保連合会で、ご対応ください。

(1) 切り戻し

本番移行において、切り戻しの最終判断ポイントまでに移行完了の目途が立たない場合には、業務運用に支障を来さないように切り戻しを検討する。切り戻しの後、異常発生原因の特定及び対策を実施後、日程を調整して、本番移行を再実施する。

切り戻しの際には、次期標準システムから現行標準システムへのデータ移行は行わず、ネットワーク代替作業で実施した設定変更について、逆の作業を実施する。

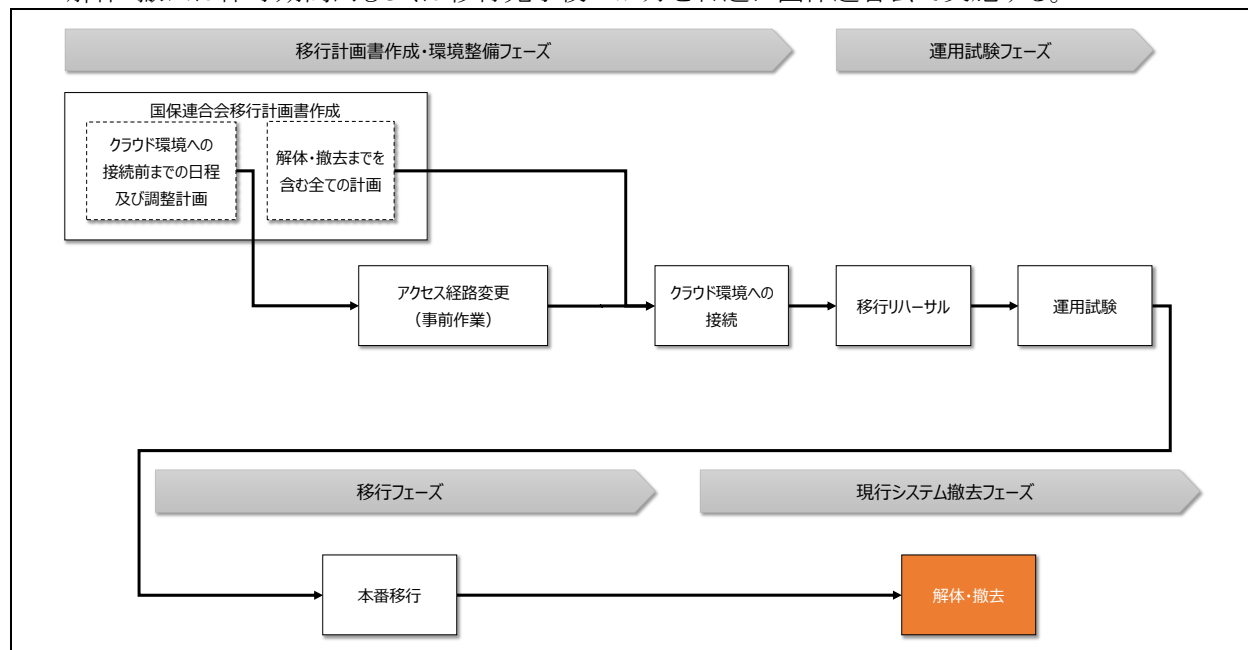
切り戻し作業と役割分担について、「▼表 3.7-10」に示す。

▼表 3.7-10 作業内容、役割分担

No.	作業名	作業内容	担当者	
			国保連合会	
			次期標準システム	現行標準システム
1	切り戻し作業開始連絡	国保業務支援システムで国保中央会へ切り戻し作業開始を連絡する。	○	－
2	次期標準システム閉局	次期標準システムの随時ジョブネットでオンライン閉局する。	○	－
3	疎通確認	現行標準システムの運用管理サーバから各 DMZ の Web サーバへの疎通を確認する。	－	○
4	データ集配信システム疎通確認	現行標準システムからデータ集配信システムへの疎通を確認する。	－	○
5	作業結果報告	国保業務支援システムで国保中央会へ作業結果を報告する。	○	－

3.8 解体・撤去

本ステップでは、現行標準システム機器を解体・撤去する。
解体・撤去は保守期間内もしくは移行完了後一か月を目途に国保連合会で実施する。



▲図 3.8-1 移行ステップ(解体・撤去)

3.8.1 開始条件

- ① 移行ステップ「本番移行」が完了していること。
- ② 次期特定健診ヘルプデスク宛てに作業日を連絡していること。
- ③ 対象機器を確認していること。

3.8.2 完了条件

- ① 現行標準システムを解体・撤去済みであること。

3.8.3 留意事項

- ① 本ステップに記載のない独自ネットワーク機器が存在する場合は国保連合会で対応すること。
- ② 稼働中のシステムに影響しないように注意すること。
- ③ 本番移行後、保守期間内もしくは移行完了後一か月を目途に本ステップを実施すること
- ④ セキュリティ等管理システムの本番切替完了後(連合会クライアント及び、保険者クライアントの切替作業を含む)に解体・撤去すること。

3.8.4 実施時期

実施時期を「▼表 3.8-1」に示す。

▼表 3.8-1 実施時期

No.	移行ステップ	実施日	実施時期		備考
			国保連合会		
			着手可	完了期限	
1	解体撤去	制限なし	本番移行後	2026 年 3 月末	

4 移行ツール及び移行手順書

現行標準システムから次期標準システムへのデータ移行では、国保連合会へ移行ツール及び移行手順書を提供し、業務運用への影響や作業負荷を軽減する。

4.1 移行ツール及び手順書一覧

移行手順書及び移行ツールの一覧を「▼表 4.1-1」「▼表 4.1-2」に示す。
移行手順書については、作業内容単位で分冊化して国保連合会へ提供する。

▼表 4.1-1 手順書一覧

No.	手順書名	説明	手順書 提供時期
1	移行手順書	以下の内容等が記載された資料。 ・移行ツールの実行や結果確認の作業手順	2025 年 8 月下旬

▼表 4.1-2 移行ツール一覧

No.	ツール名	説明	ツール 提供時期	使用する移行ステップ
1	DB データ抽出ツール	現行標準システムから移行対象の DB データを DMP ファイルとして抽出するツール。	2025 年 8 月 下旬	・移行リハーサル ・本番移行
2	DB データ取込ツール	移行対象の DB データを DMP ファイルから次期標準システムへ取り込み及び検証を行うツール。	2025 年 8 月 下旬	・移行リハーサル ・本番移行
3	データ転送ツール	移行対象のデータ(DB データ抽出ツールで出力したログデータ、DMP ファイル及びフラットファイル)を現行標準システムから次期標準システムへ転送するツール。	2025 年 8 月 下旬	・移行リハーサル ・本番移行
4	フラットファイル用リストファイル作成ツール	現行標準システムの「J:MSCS-SHARE/ktdk/df」に格納されているファイルの一覧を作成するツール。	2025 年 8 月 下旬	・移行リハーサル ・本番移行

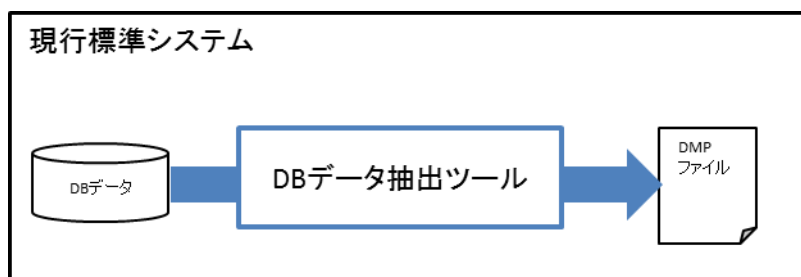
4.2 移行ツール仕様

各移行ツールの仕様を以下に示す。

4.2.1 DB データ抽出ツール

現行標準システムから移行対象の DB データを DMP ファイルとして抽出するツール。現行標準システムの DB サーバにおいて、Oracle 標準機能である Oracle DataPump のエクスポート機能を使用して、移行対象の DB データを DMP ファイルとして抽出する。

なお、移行対象は「2.3.2 移行対象データ」を参照すること。



▲図 4.2-1 DB データ抽出ツールイメージ図

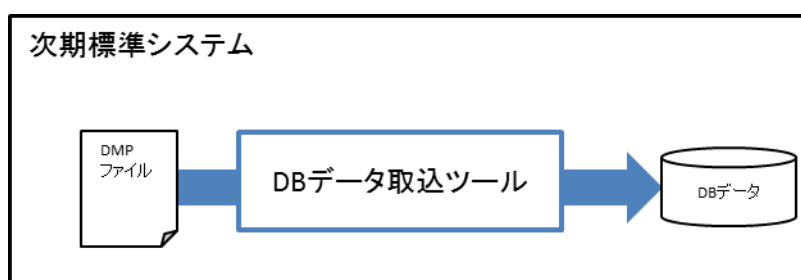
4.2.2 DB データ取込ツール

移行対象の DB データを DMP ファイルから次期標準システムへ取り込むツール。次期標準システムの DB サーバにおいて、Oracle 標準機能である DataPump のインポート機能を使用して、DMP ファイルから移行対象 DB データを取り込む。

その後、統計情報の再取得を行う。

次期標準システムの DB へ投入が完了した後に、現行標準システムで DB からデータを抽出した際に出力したログファイルと次期標準システムの DB へ取り込む際に出力したログファイルをもとにテーブル件数が一致していること、移行対象オブジェクトが次期標準システムの DB へ投入できていることを検証する。

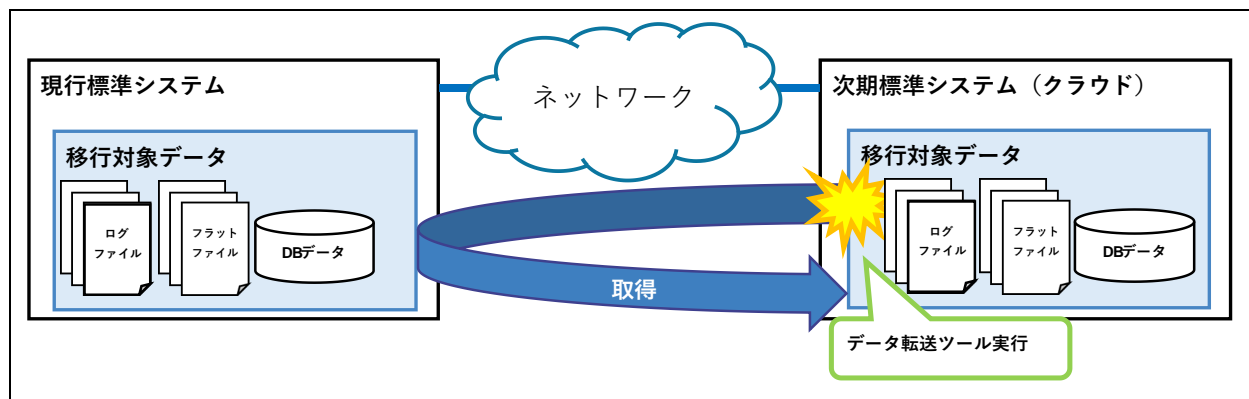
なお、移行対象は「2.3.2 移行対象データ」を参照すること。



▲図 4.2-2 DB データ取込ツールイメージ図

4.2.3 データ転送ツール

移行対象のデータ(DB データ抽出ツールで出力したログファイル、DMP ファイル及びフラットファイル)を現行標準システムから次期標準システムへネットワーク経由で転送するツール。データ転送方式としてネットワーク経由でファイルストレージへ転送を行う。転送には「PULL」でストレージから直接ファイルを取得する。



▲図 4.2-3 データ転送ツール実行イメージ

4.2.4 フラットファイル用リストファイル作成ツール

現行の「J:MSCS-SHARE/kt dk/df」に格納されているファイルの一覧を出力する。
出力される情報として、ディレクトリ名、ファイル名、ファイルサイズ、タイムスタンプが出力される。